SONY®

4-094-967-**05** (1)

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KV-14DA75/KV-21DA75

目次

見る

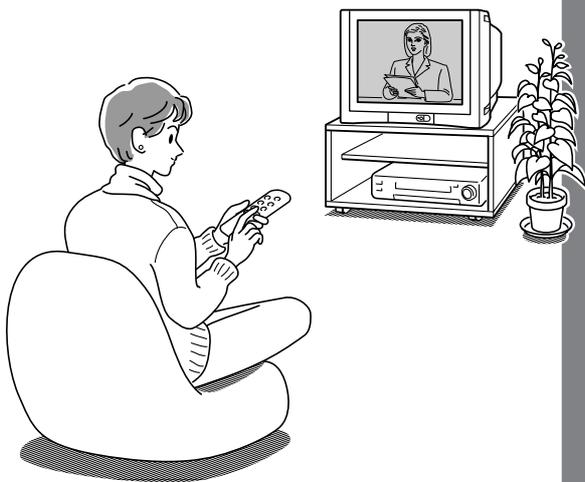
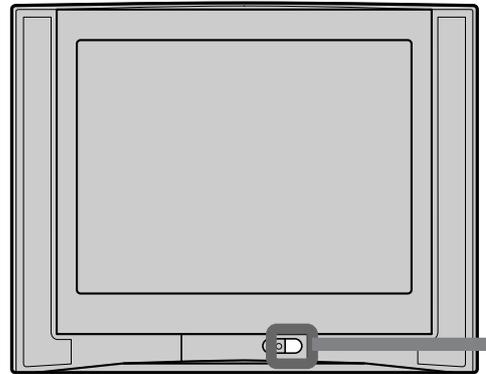
調整する／設定する

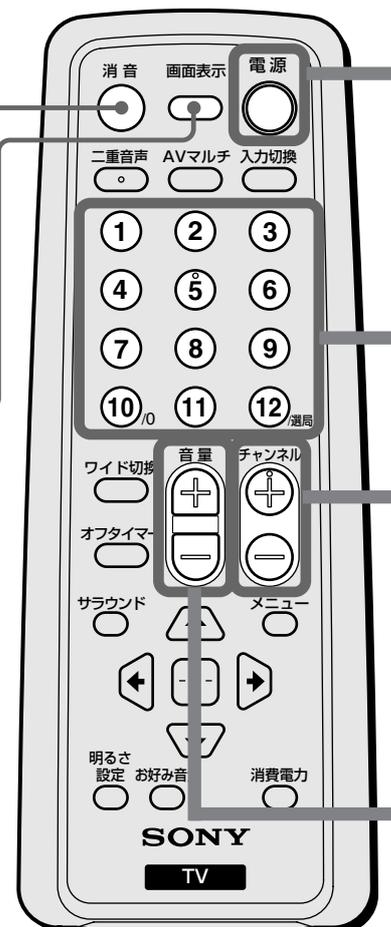
テレビの接続と準備

他機との接続

その他

見る

ここでは、通常のテレビをはじめ、ビデオやDVDプレーヤー、テレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
画質や音質を選んだり、節電しながら見たり、横長の画面にするなどの、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビを見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

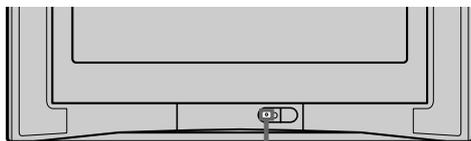
画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/−ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。
放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないことがあります。

1 テレビの電源を入れる。

地磁気*などの影響を取り除く自動消磁機能により「ブーン」という音がして、きれいに安定した画像が10秒前後で映ります。

* 地球が一つの大きな磁石となって発生する磁場で、方位磁石が南北を示すのも地磁気によるものです。色むらの原因になることがあります。

電源

スタンバイ/オフタイマー

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

電源

電源

スタンバイ/オフタイマー

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/−ボタンでもチャンネルを選べます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
/0 /選局

または

3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の右にある数値も調節の目安になります。

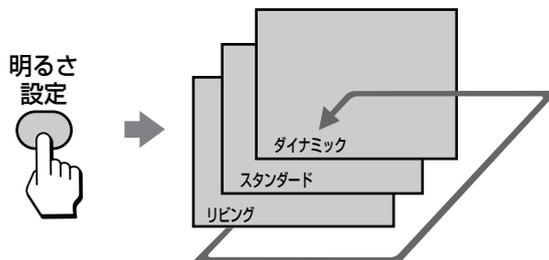
部屋の明るさに合った映像を選ぶ
[明るさ設定ボタン]

明るさ設定ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質に設定できます。
画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*に設定できます。
また、「リビング」を選ぶと、より細かく調整できます（☞15ページ）。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。

* ただし、以下のときは共通になります。
- 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
- AVマルチボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき

明るさ設定ボタン

明るさ設定ボタンをくり返し押す。

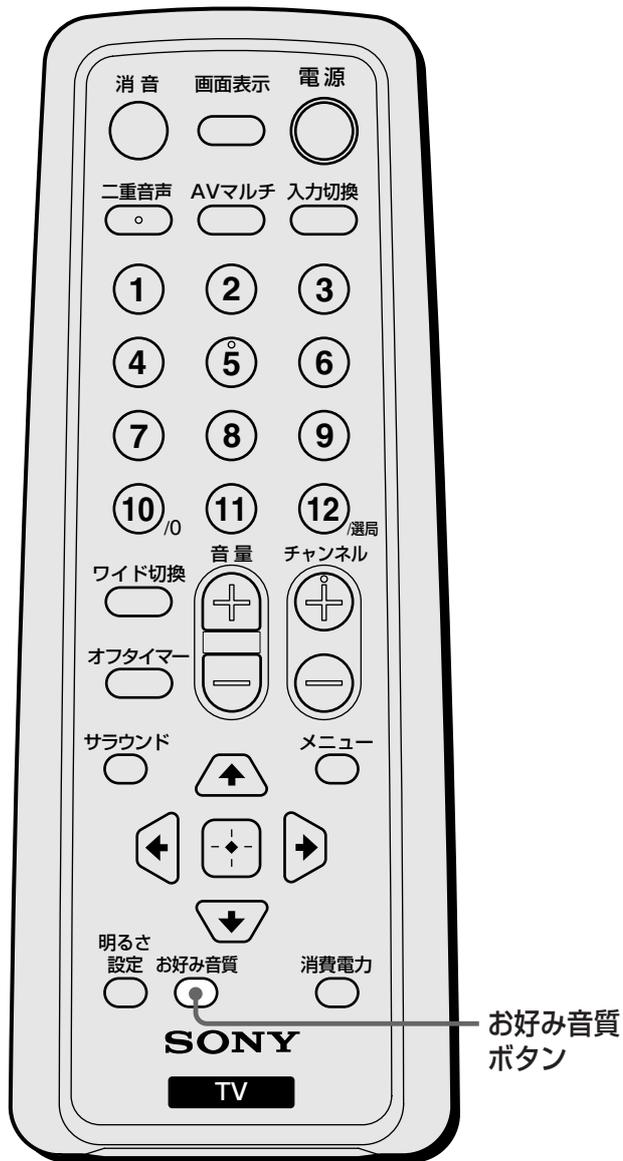
1回押すと、現在の明るさ設定が表示されます。その後押すたびに、次のように切り換わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを強調したメリハリの非常に効いた映像になります。

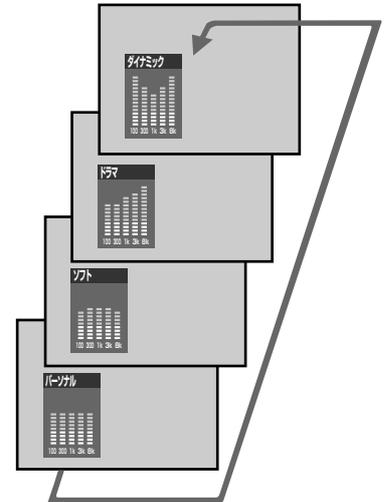
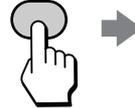
スタンダード
明るめの部屋で見るのに適したコントラストの映像になります。

リビング
明るさや色あい、色の濃さなどの調整ができます（☞15ページ）。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある映像になります。

ちょっと一言
メニュー画面でも操作できます。「（画質）」メニューで「明るさ設定」を選び、「ダイナミック」、「スタンダード」または「リビング」にしてください。

映像に合った音質を選ぶ
[お好み音質ボタン]

お好み音質ボタンを押すだけで、映像に合った音質を選べます。
また、「パーソナル」を選ぶと、より細かく調整できます（☞18ページ）。

お好み音質ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在のお好み音質モードが表示されます。その後押すたびに、次のように切り換わります。

ダイナミック
低域および高域の両方を強調した迫力のあるクリアな音質になります。

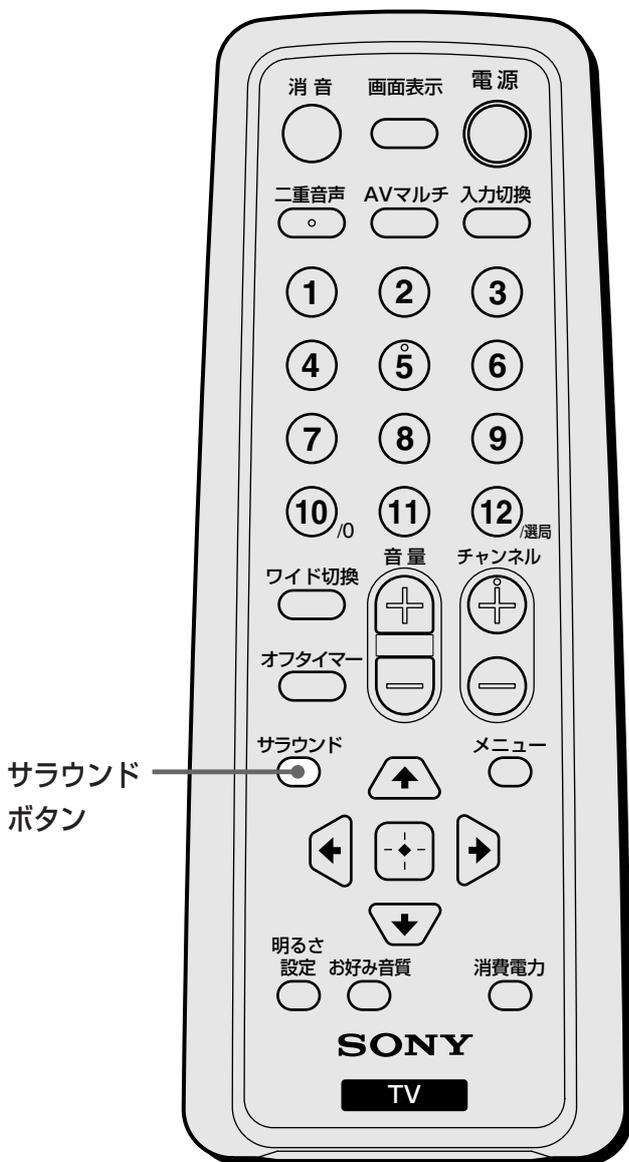
ドラマ
音声および高域を強調した音質になります。

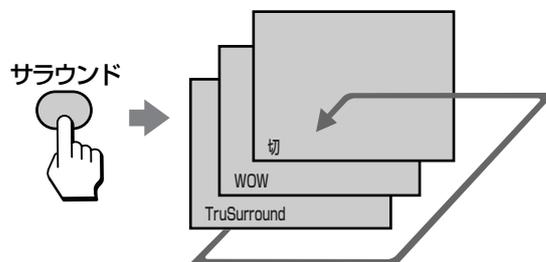
ソフト
自然な音質になります。

パーソナル
低域や高域および人の声域など、きめ細かな調整ができます（☞18ページ）。
「標準」では、すべての音域を均等化した音質になります。

ちょっと一言
メニュー画面でも操作できます。「♪(音質)」メニューで「お好み音質」を選び、「ダイナミック」、「ドラマ」、「ソフト」または「パーソナル」にしてください。

サラウンドを楽しむ
[サラウンドボタン]

サラウンドボタンを押して、ゲームや映画に適した音質を選べます。
サラウンド設定は各入力共通の設定になります。
通常は「切」を選ぶことをおすすめします。

サラウンドボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在のサラウンド設定が表示されます。その後押すたびに、次のように切り換わります。

WOW*
WOWの搭載により、豊かで質の良い低音とクリアな高音が再現でき、更にサラウンド効果によってゲームセンターのような立体的で大迫力のゲーム音になります。
「WOW」では、BBEハイディフィニションサウンドがフル作動して、サウンドエフェクトを最大限に向上させます。

TruSurround*
TruSurroundの搭載により、テレビ左右のスピーカーで映画館にいるような、臨場感あふれる音を再現します。

ご注意
サラウンド設定が「TruSurround」のときは、入力音量安定モード（☞19ページ）の設定はできません。

切
オリジナル音声をそのまま再現します。

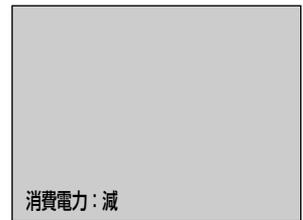
* WOW、TruSurround、SRSと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。WOW、TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

ちょっと一言
- サラウンドボタンで「WOW」や「TruSurround」を選ぶと、次にサラウンドボタンを押して選び直すまで、同じ設定になります。目的にあった設定により、効果的なサラウンド音場を楽しめます。
- メニュー画面でも操作できます。「♪(音質)」メニューで「サラウンド」を選び、「WOW」、「TruSurround」または「切」にしてください。

節電しながら見る

[消費電力ボタン]

消費電力ボタン

消費電力ボタンを押す。

節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力：標準」と表示されます。

さらに節電するには

節電レベルの大小を選べます。
「消費電力：標準」のときは、設定できません。

1. メニューボタンを押して、メニューを出す。
2. ↑/↓で「(初期設定)」を選び、(決定)ボタンを押す。
3. ↑/↓で「消費電力減レベル」を選び、(決定)ボタンを押す。
4. ↑/↓で「小」(お買い上げ時の設定)または「大」を選び、(決定)ボタンを押す。
5. メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- 明るさ設定で「リビング」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます(☞15ページ)。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならない場合があるため、おすすめしません。

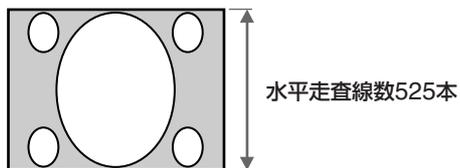
横長の画面にする（高密ワイド）

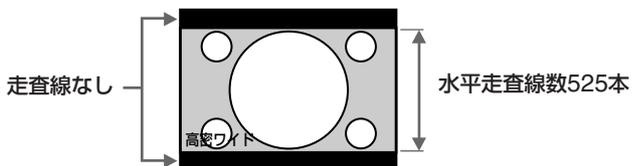
［ワイド切換ボタン］

BS・110度CSデジタル放送やDVDプレイヤー、ビデオカメラなどの横縦比16：9映像を縦長に記録した映像は、16：9のワイド映像に戻して見ることができます。また、画面上下の黒帯部分を除いた部分（映像が表示されている部分）に、水平走査線を集める技術によって、高密度な16：9映像をお楽しみいただけます。

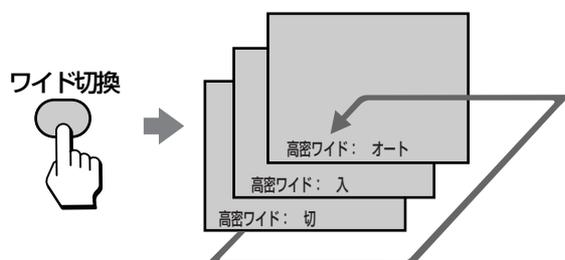
ちょっと一言

BS・110度CSデジタルチューナー側の「テレビ選択」の設定を「4：3ワイドモード」や「16：9」などに合わせてください。また、DVDソフトやビデオカメラで記録されたワイド（スクィーズ）映像対応の映像を見るには、各接続機器の「TVタイプ」の設定を「16：9」にしてください。詳しくは、各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

高密ワイド「切」のときの映像（16：9映像を縦長にした映像）

高密ワイドが働いているときの映像（16：9映像）

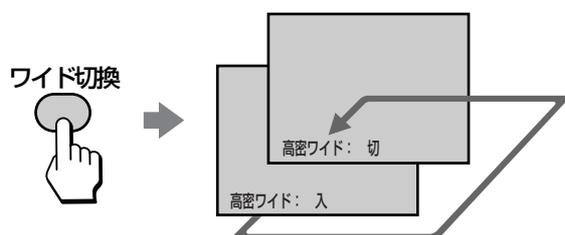
走査線を密にしてより高画質にします。

ワイド切換ボタンを押す。

1回押すと、現在のワイド設定が表示されます。その後押すたびに、次のように切り換わります。

コンポーネントD1映像入力端子からの映像のとき

「高密ワイド：オート」を選ぶと
横縦比の信号（D1入力端子からの横縦比情報の入った映像）を自動判別して、縦方向を圧縮した横縦比16：9ワイド画面にします。それ以外の映像はオリジナルそのままに映します。つなぐ機器にD1、D2、D3、D4映像出力端子があるときは、D映像コードで接続すると、正しく判別されます。

「高密ワイド：入」を選ぶと
すべての映像を縦方向に圧縮します。

「高密ワイド：切」を選ぶと
すべての映像をオリジナルそのままに映します。

その他の映像のとき

「高密ワイド：入」を選ぶと
すべての映像を縦方向に圧縮します。

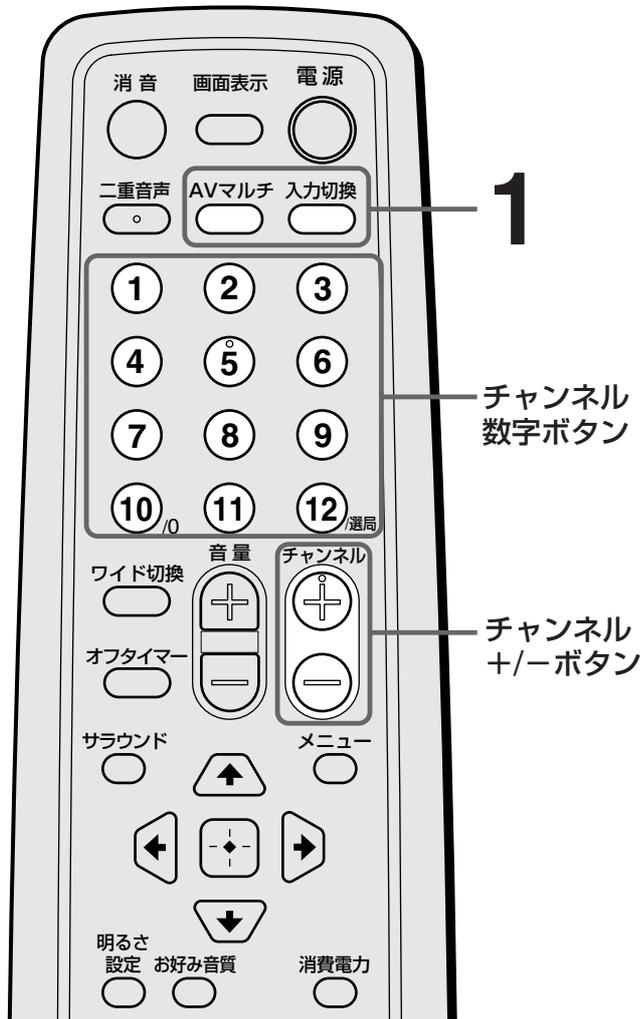
「高密ワイド：切」を選ぶと
すべての映像をオリジナルそのままに映します。

ちょっと一言
メニュー画面でも操作できます。「(初期設定)」メニューで「高密ワイド」を選び、「オート」、「入」または「切」にしてください。

高密ワイドについてのご注意
- 通常のテレビ放送など横縦比4：3の映像は、「高密ワイド：入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えます。
- 高密ワイド機能を、喫茶店やホテル等で、営利目的、または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、「切」にしてください。「入」を選ぶと、従来から入っていた黒帯の部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。
- このテレビのビデオ出力端子につないだビデオで、高密ワイドにした映像（16：9映像）をそのままの画面サイズで録画することはできません。テレビのビデオ出力端子からは、元のオリジナル映像（16：9映像を縦長に圧縮した映像）の信号で出力されるためです。

テレビにつないだ機器の画像を見る

[入力切換ボタン]

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やDVDプレーヤー、テレビゲーム、BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送などの映像を見ることができます。接続のしかたについては、☞33〜42ページをご覧ください。

ちょっと一言

テレビ本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力を切り換えることもできます。

テレビ → ビデオ1* → ビデオ2* → ビデオ3 → コンポーネント（D端子） → AVマルチRGB → AVマルチY/CB/CR → テレビ

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
入力切換	● ビデオ1入力端子	ビデオ1*
	● ビデオ2入力端子	↓ ビデオ2*
	● ビデオ3入力端子	↓ ビデオ3
	● コンポーネント入力端子	↓ コンポーネント（D端子）
	● AVマルチ入力端子	↓ AVマルチ RGB
		↓ AVマルチ Y/CB/CR
		↓ チャンネル番号（テレビ）（→ ビデオ1*へ戻る）
AVマルチ	● AVマルチ入力端子	AVマルチ RGB
	詳しくは、「AVマルチ入力端子につないだとき」（☞13ページ）をご覧ください。	↕ AVマルチ Y/CB/CR

* S映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」または「Sビデオ2」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/−ボタンを押す。

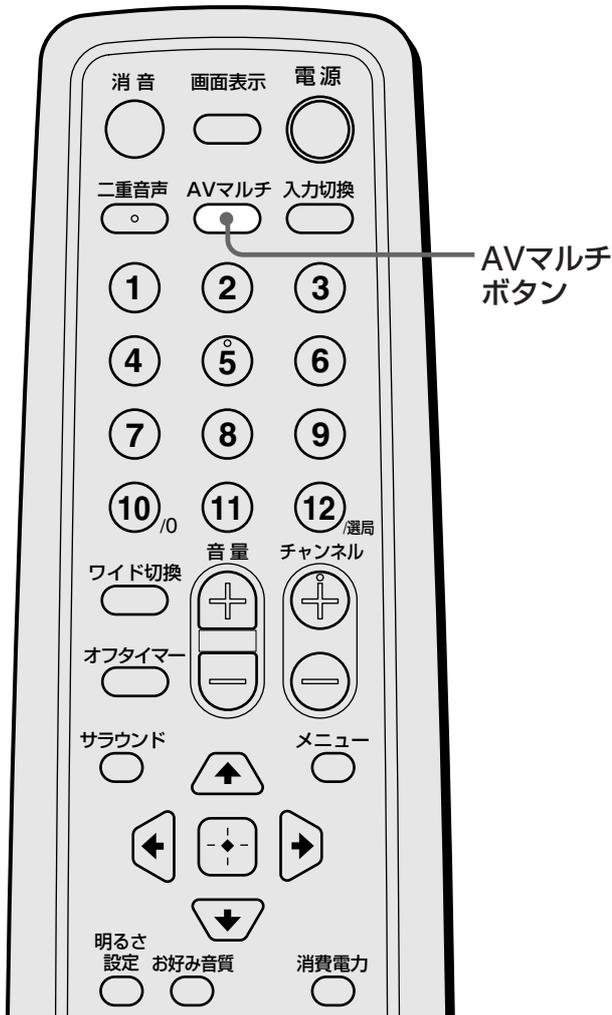
“プレイステーション 2”などを楽しむ

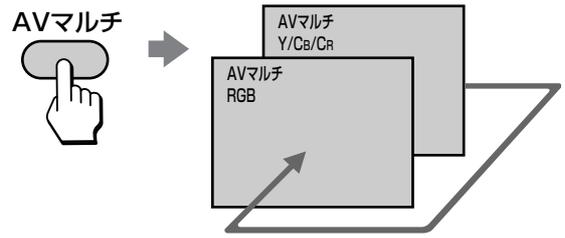
“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”（PS one）および
“プレイステーション”の取扱説明書もあわせてお読みください。

AVマルチ入力端子につないだとき（☞41ページ）

RGB接続またはY/CB/CR接続になり、高画質な映像でゲームを楽しめます。

ご注意

ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

AVマルチボタンをくり返し押す。

押すたびに、入力が次のように切り換わります。

“プレイステーション 2”を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、“プレイステーション 2”の映像が出る入力（「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」）にする。

ご注意

下の表のように、“プレイステーション 2”側の設定にテレビ側のAVマルチ入力を合わせてください。設定が異なっていると、映像が乱れたり、正しく表示されないことがあります。

“プレイステーション 2”側のシステム設定画面で「コンポーネント映像出力」が	テレビ側のAVマルチ入力を
「RGB」のときは、	「AVマルチRGB」にする。
「Y Cb/Pb Cr/Pr」のときは、	「AVマルチY/CB/CR」にする。

“プレイステーション”（PS one）および“プレイステーション”を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を選ぶ。

次のページにつづく

"プレイステーション 2"、"プレイステーション"（PS one）および"プレイステーション"の画面の左右位置を調整するには

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(初期設定)」を選び、(決定)ボタンを押す。

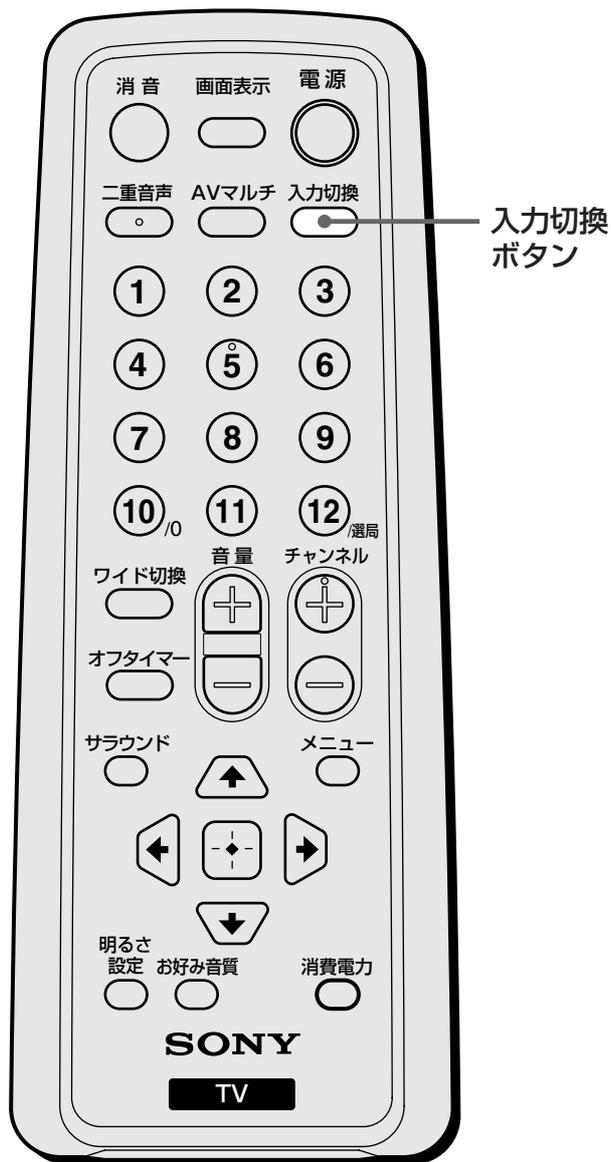
3 ↑/↓で「AVマルチ画面位置」を選び、(決定）ボタンを押す。

4 ↑/↓で画面の左右位置を調整する。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

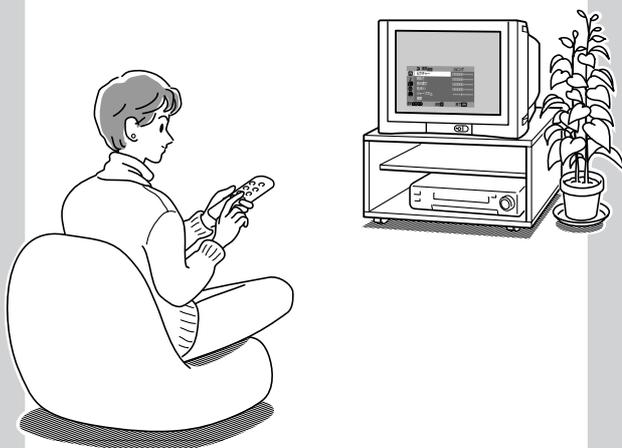
- AVマルチ入力端子は、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、テレビに影響はありません。
- 「AVマルチ画面位置」は、「AVマルチ」の映像でのみ、調整できます。
- 将来の"プレイステーション 2"用の高解像度ゲームソフトなどには、このテレビは対応していません。
詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ビデオ入力端子につないだとき（☞42ページ）

入力切換ボタンをくり返し押す。

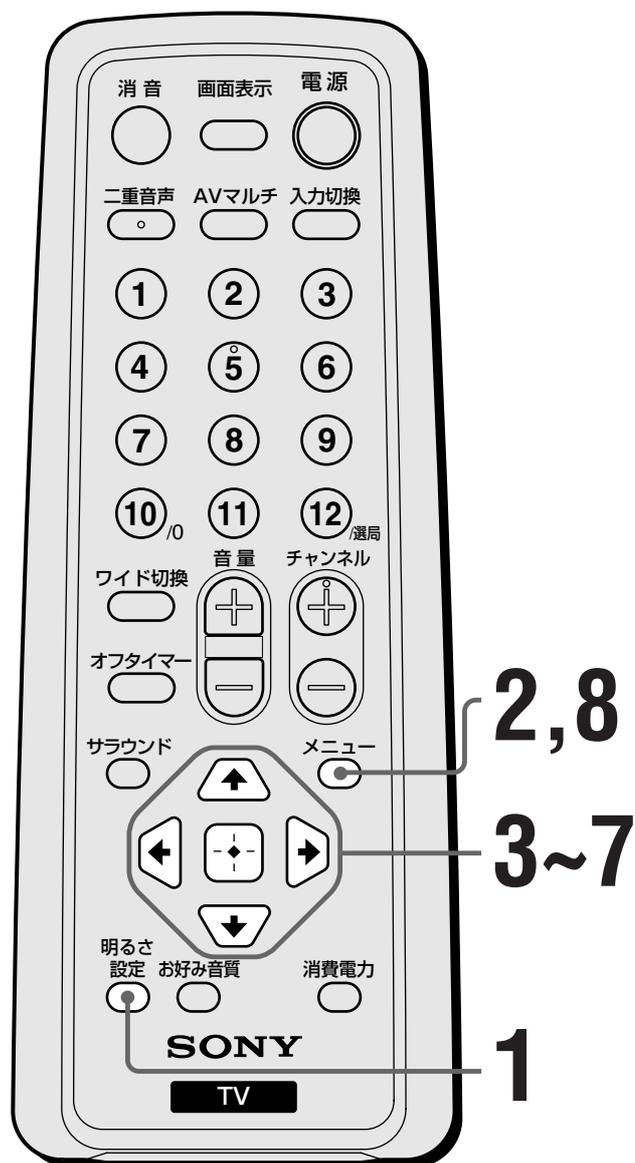
"プレイステーション 2"、"プレイステーション"（PS one）および"プレイステーション"などの映像が出る入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」）にする。

詳しくは、☞12ページをご覧ください。

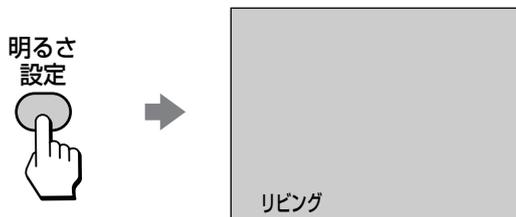
調整する/設定する

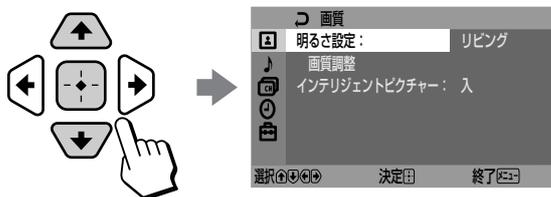
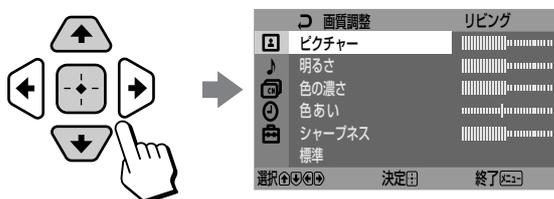
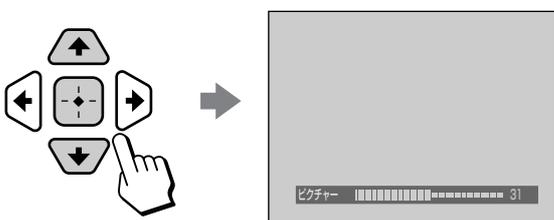
ここでは、画質や音質を調整する応用的な操作を説明しています。
テレビに内蔵されているタイマーを使って、自動的に電源を切ったりする操作も説明しています。

画質を調整する

明るさ設定ボタンで「リビング」を選ぶと（☞6ページ）、画質をより細かく調整できます。
画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*に設定できます。

* ただし、以下のときは共通になります。
  – 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
  – AVマルチボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき

次のページにつづく

画質を調整する（つづき）

1 明るさ設定ボタンをくり返し押して、「リビング」*を選ぶ。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「（画質）」を選び、（決定）ボタンを押す。

4 ↑/↓で「画質調整」を選び、（決定）ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整したい項目を選び、（決定）ボタンを押す。

6 ↑/↓/←/→で調整し、（決定）ボタンを押す。

項目	↑/→を押すと	↓/←を押すと
ピクチャー	明暗の差が大きくなる	明暗の差が小さくなる
明るさ	明るくなる	暗くなる
色の濃さ	濃くなる	薄くなる
色あい	緑がかる	赤みがかる
シャープネス	映像の輪郭がくっきりする	映像の輪郭が柔らかくなる

ちょっと一言

調節バーの右に表示される数値も調節の目安になります。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

* 「（画質）」メニューで「明るさ設定」を選び、「リビング」にすることもできます。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順5で、「標準」を選び、（決定）ボタンを押す。

ご注意

- 「ダイナミック」と「スタンダード」（☞6ページ）では、画質調整できません。
- AVマルチRGBのときは、「色の濃さ」と「色あい」、「シャープネス」は調整できません。

ノイズを抑えたり、映像シーンに合わせた画質に自動コントロールするには（インテリジェントピクチャー）

映像信号の各種成分を自動的に検知し、映像シーンに合わせた最適な画質に調整するのが「インテリジェントピクチャー」機能です。ビデオ映像に入りやすいノイズも抑える効果があり、メリハリの効いたコントラストのある映像になります。
お買い上げ時は「入」に設定されています。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「［画質アイコン］（画質）」を選び、［決定アイコン］（決定）ボタンを押す。

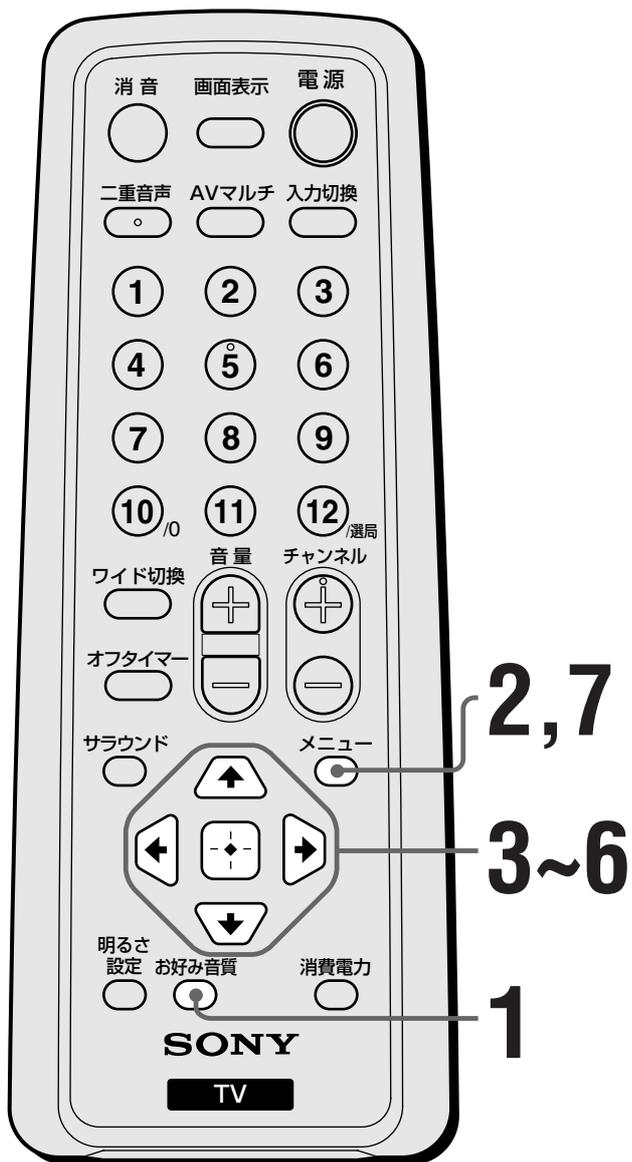
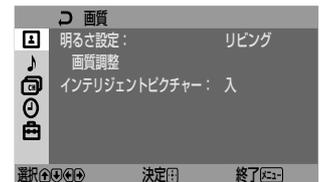
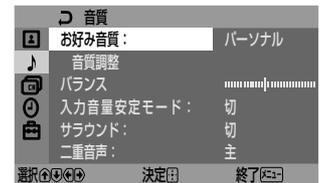
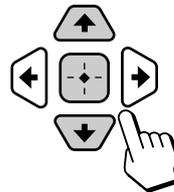
3 ↑/↓で「インテリジェントピクチャー」を選び、［決定アイコン］（決定）ボタンを押す。

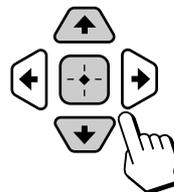
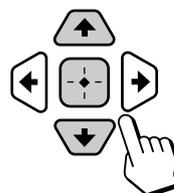
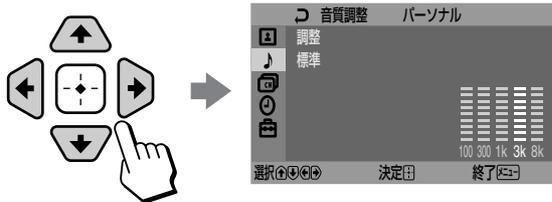
4 ↑/↓で「入」または「切」を選び、［決定アイコン］（決定）ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音質を調整する

お好み音質ボタンで「パーソナル」を選ぶと（☞7ページ）、音質をより細かく調整できます。音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*[1]に設定できます。

*[1] ただし、以下のときは共通になります。
– 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
– AVマルチボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき

1 お好み音質ボタンをくり返し押して、「パーソナル」*[2]を選ぶ。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「♪（音質）」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

4 ↑/↓で「音質調整」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

5 ↑/↓で「調整」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

6 ←/→で調整したい周波数域を選び、↑/↓で調整する。

5バンドイコライザーの各周波数域を好みの音質に調整してください。低周波数では低域を、高周波数では高域を調整できます。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

*2「♪(音質)」メニューで「お好み音質」を選び、「パーソナル」にすることもできます。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順5で、「標準」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

音量のバランスをかえるには（バランス）

テレビ左右のスピーカーから出る音の強さをかえたいときは、「バランス」を調整してください。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「♪(音質)」を選び、⊡(決定）ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「バランス」を選び、⊡(決定）ボタンを押す。**
4. **↑/→または↓/←で左右のバランスを調整する。**
5. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

入力端子ごとの音量差が気になるときは（入力音量安定モード）

以下のようなときなど、音声信号による音量差が気になる場合には、入力音量安定モードを「入」に設定してください。

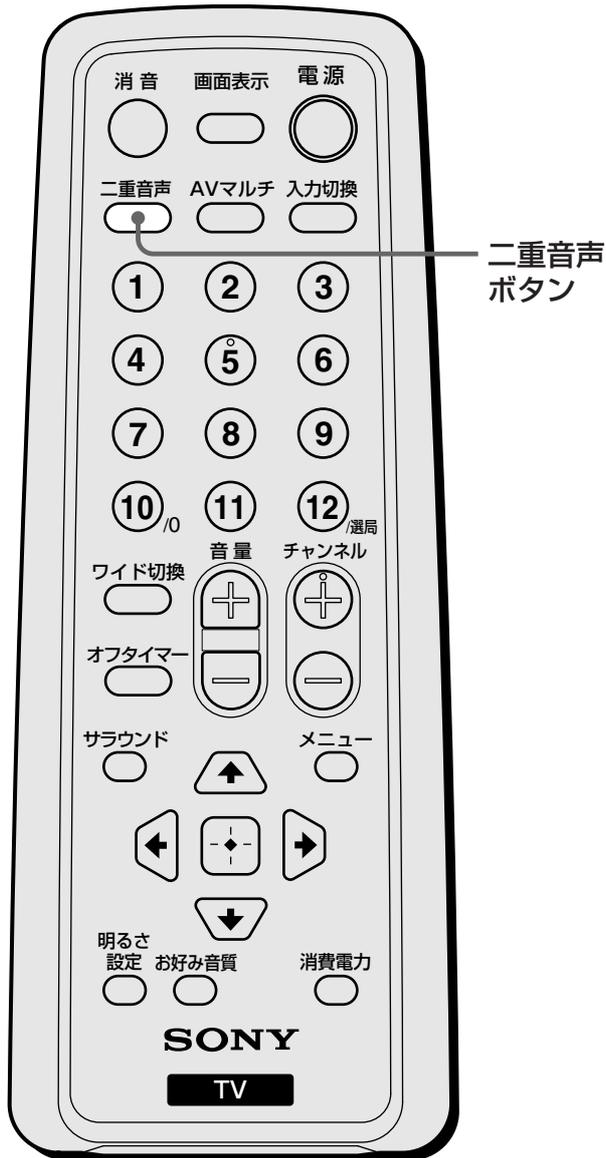
－テレビからデジタルチューナーの放送に切り換えたら音が小さくなった
－コマーシャルの音が大きく感じる
－ビデオに切り換えたら音が聞き取りにくくなった

入力音量安定モードは、入力切換用のボタンで選べる入力ごとに別々に設定できます。ただし、AVマルチ（RGB）入力とAVマルチ（Y/CB/CR）入力は同じ設定になります。

1. **入力音量安定モードを設定したい入力に切り換える。**
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **↑/↓で「♪(音質)」を選び、⊡(決定）ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「入力音量安定モード」を選び、⊡(決定）ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「入」を選び、⊡(決定）ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意
- サラウンド設定が「TruSurround」のときは（☞8ページ）、設定はできません。
- 映画やライブなど音量の変化による臨場感を楽しむときは「切」にしてください。

音声を切り換える
[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声

例：「主/副」を選んだとき

ちょっと一言

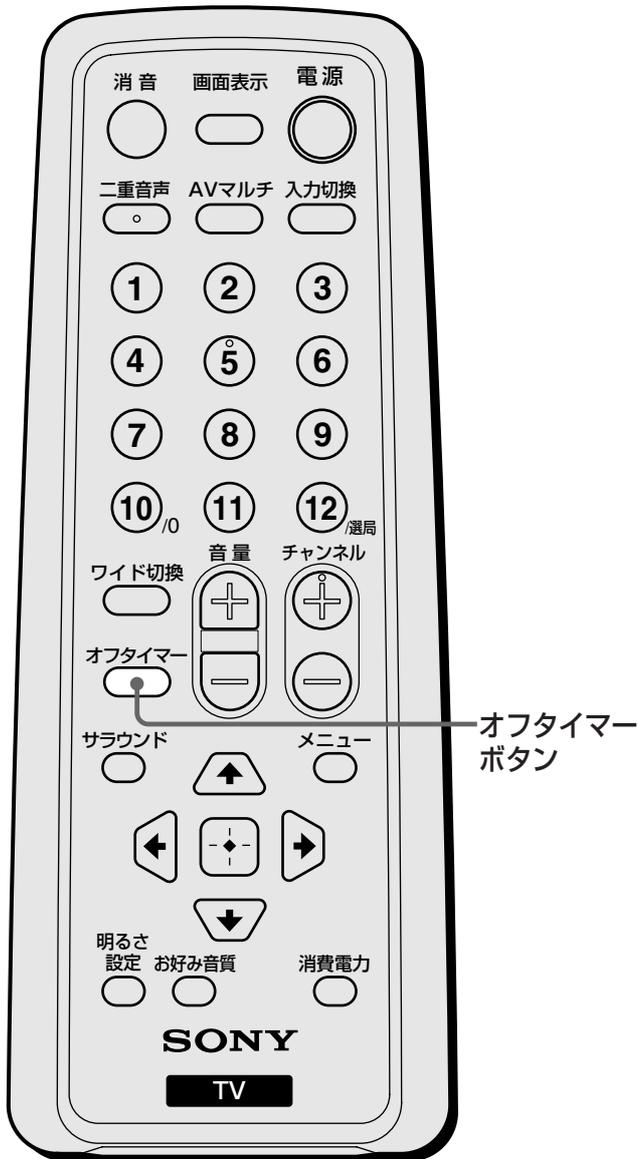
メニュー画面でも操作できます。「♪(音質)」メニューで「二重音声」を選び、「主」、「副」または「主/副」にしてください。

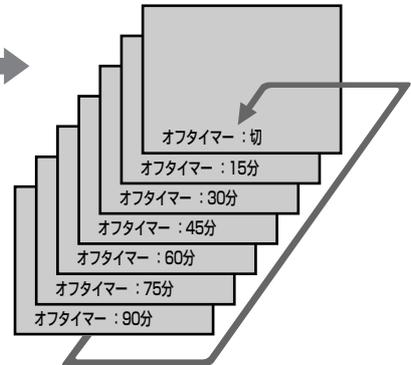
VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、雑音を軽減できます。

1. 雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。
2. ▲/▼で「(初期設定)」を選び、(決定)ボタンを押す。
3. ▲/▼で「オートステレオ」を選び、(決定)ボタンを押す。
4. ▲/▼で「切」を選び、(決定)ボタンを押す。
5. メニューボタンを押して、メニューを消す。

自動で電源を切る
[オフタイマーボタン]

見ている番組の終わる時間などに合わせて、自動的にテレビの電源を切るように設定できます。設定できる時間は15分、30分、45分、60分、75分、90分後です。

オフタイマーボタンをくり返し押す。

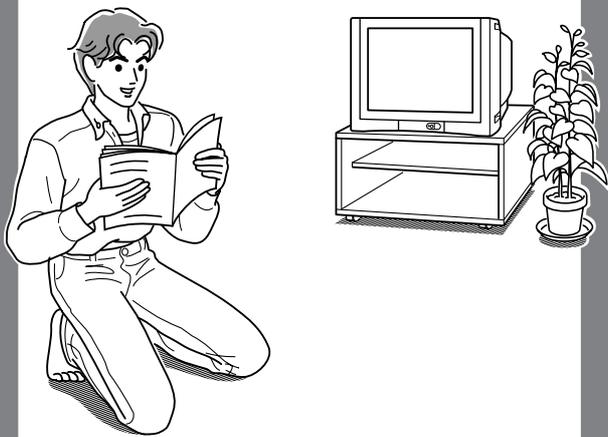
押すたびに、次のように設定時間が切り換わります。また、テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプがオレンジ色に点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー：切」を選ぶ。

ちょっと一言

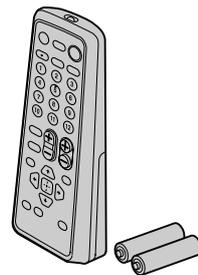
- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間（例：「オフタイマー：あと17分」）が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー：切」に戻ります。
- メニュー画面でも操作できます。「⏲(タイマー)」メニューで「オフタイマー」を選び、終了させたい時間を設定してください。

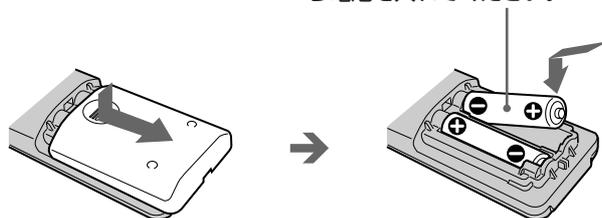
テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナのつなぎかたやチャンネル設定について説明しています。
手順1～3（☞23～30ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞33ページ）をご覧ください。

付属品を確かめる

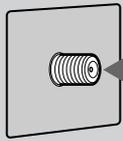
箱を開けたら、付属品がそろっているかをお確かめください。

リモコン（1個）と
単3型乾電池（2個）

取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

手順1：テレビアンテナをつなぐ

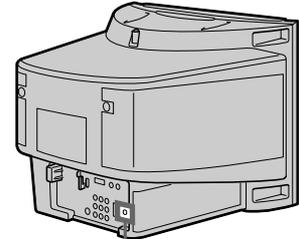
テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

VHF/UHF混合、またはVHF、またはUHF

壁のアンテナ端子

同軸ケーブル（別売りEAC-315など）

そのままつなぎます

同軸ケーブル
（別売りEAC-230、250など）

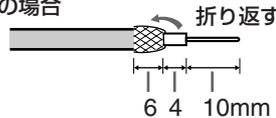
VHF/UHF用アンテナコネクター
（別売りEAC-35Bなど）

VHF/
UHF

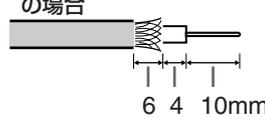
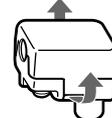
つなぎかた

1 同軸ケーブルの芯線とアミ線を出す

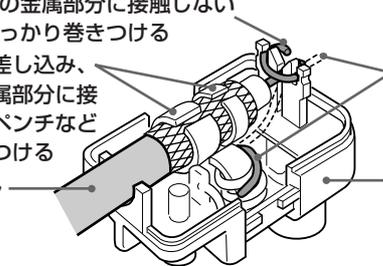
EAC-230など3C-2Vケーブルの場合

折り返す

6　4　10mm

EAC-250など5C-2Vケーブルの場合

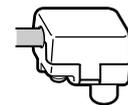
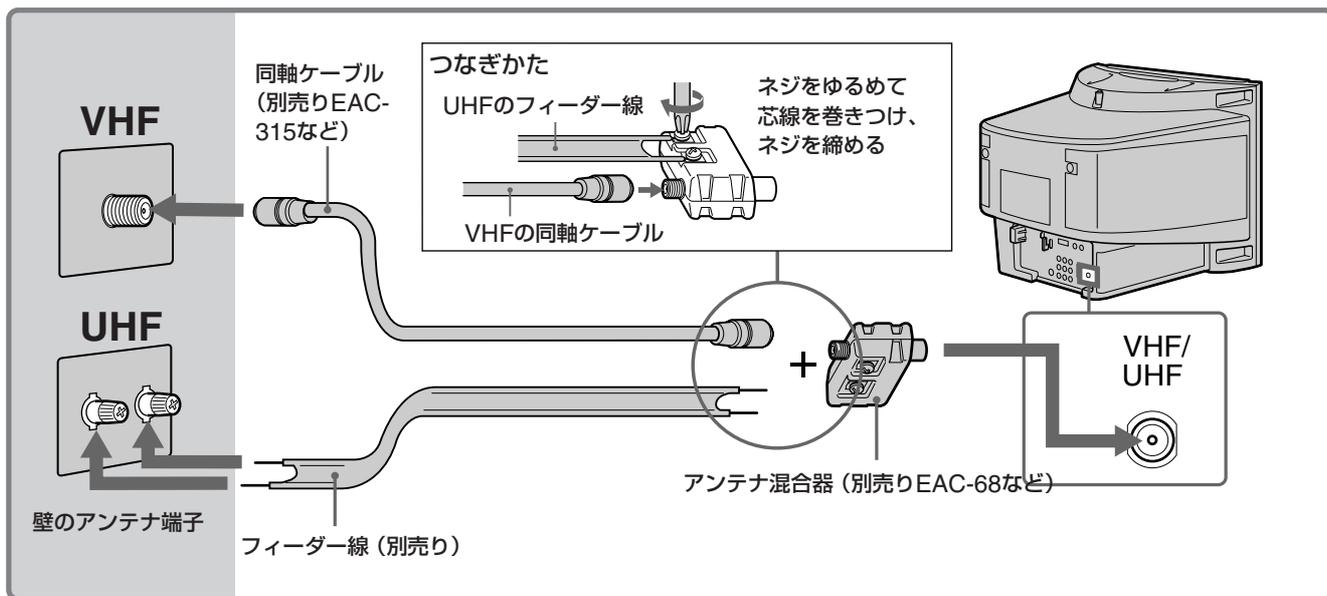
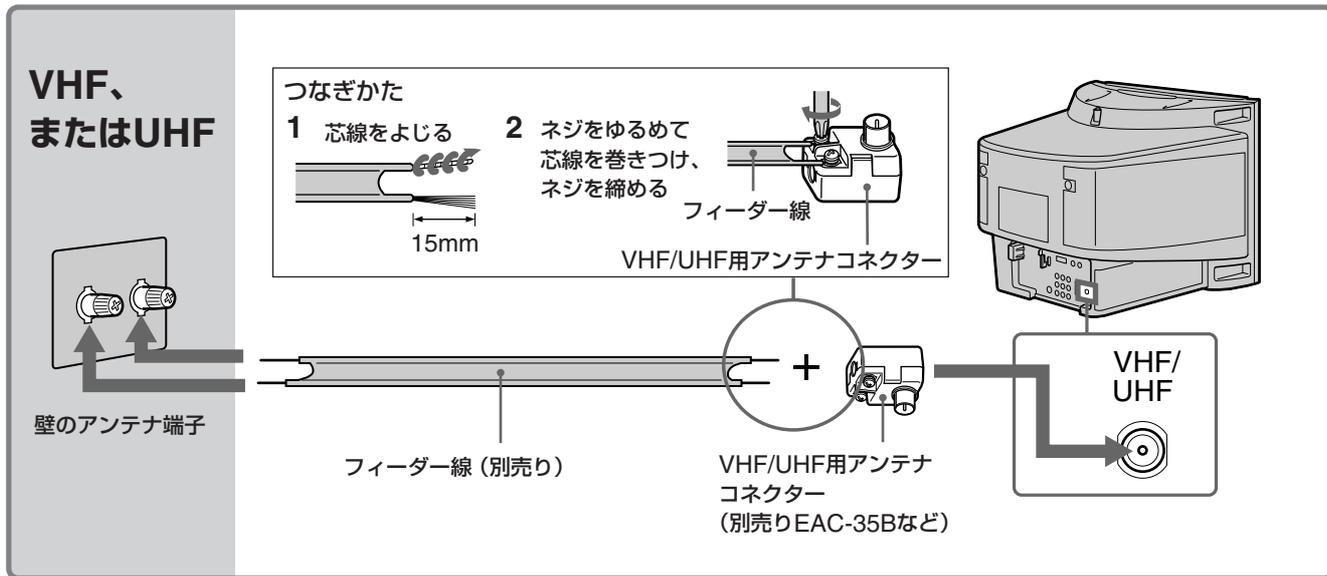
6　4　10mm

2 VHF/UHF用アンテナコネクターの両側を広げてふたを開ける

3

③芯線を他の金属部分に接触しないようにしっかり巻きつける

②同軸ケーブルを差し込み、アミ線が他の金属部分に接触しないようにペンチなどでしっかり締めつける

①点線部分のリード線をはずし、金属部分に接触しないように折り返す

同軸ケーブル

VHF/UHF用アンテナコネクター

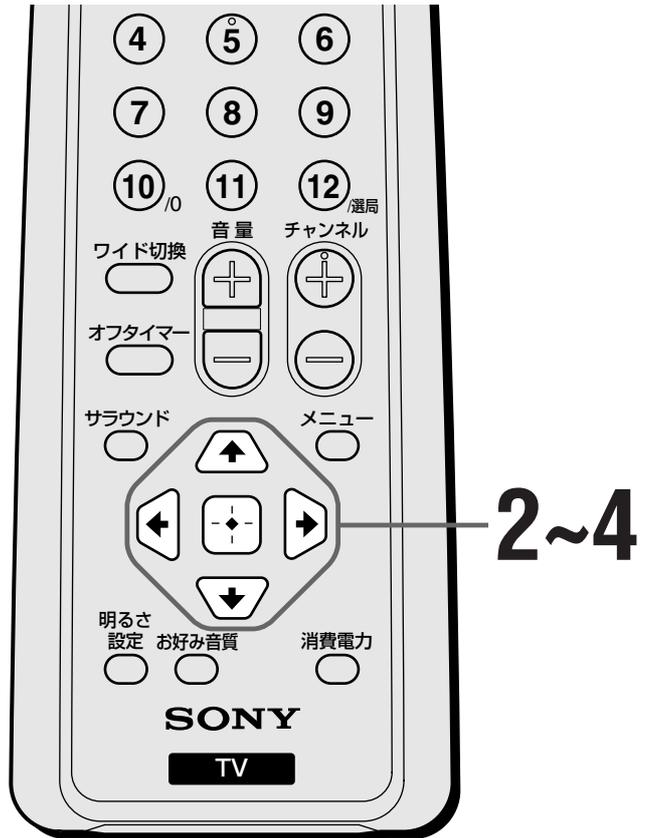
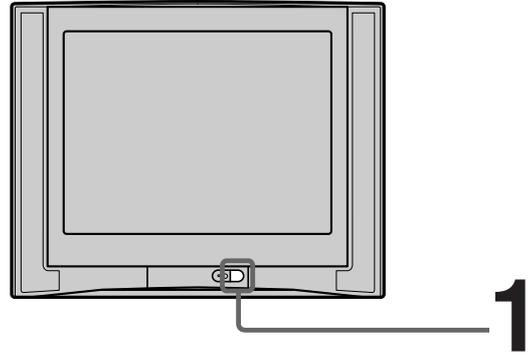
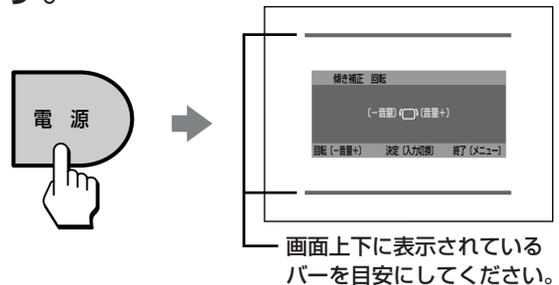
4 ふたを閉める

手順1：
テレビアンテナをつなぐ（つづき）

ご注意

フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線でつなぐときは、テレビからできるだけ離してください。

手順2：地磁気による画像の傾きなどを補正する

地磁気など磁界によって発生する画像の傾きを補正できます。これらの症状は、テレビの故障ではありません。
お買い上げ時は、テレビアンテナをつないでから、必ず画像の傾きを補正してください。
お引っ越し後や、テレビの設置場所を変えたときも、必ずメニュー画面で補正し直してください。

補正される前に確認してください。
- 外部のスピーカー（防磁型も含む）は、テレビから30cm以上離して置いてください。スピーカーの磁気により、うまく補正されなかったり、スピーカーから雑音が出たりするためです。
- 強い磁界（高圧電線や電車、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、うまく補正されないことがあります。このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、ソニーサービス窓口やお買い上げ店などにご相談ください。

テレビの接続と準備

1 テレビ本体の電源スイッチを押す。

画面が正常に映っているときは
補正する必要はありません。メニューボタンを押して手順4以降を行ってください。

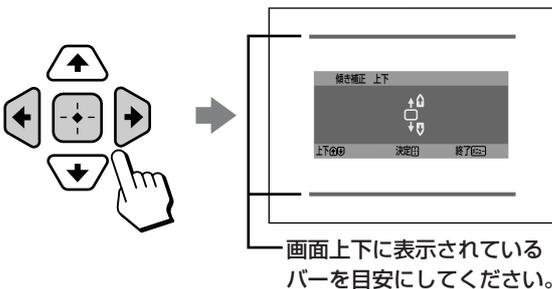
手順2：
地磁気による画像の傾きなどを補正する（つづき）

2 ←/→で調整し、⊡（決定）ボタンを押す。

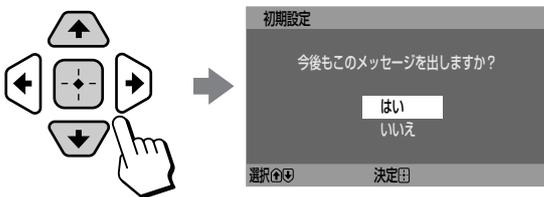
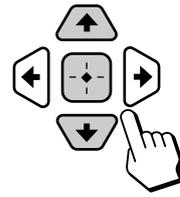
画面の傾きを補正します

画面上下のバーができる限り水平になるようにします。

ご注意

調整をするときは、一度に大きく回転させないでください。

3 ↑/↓で調整し、⊡（決定）ボタンを押す。

画面の上下位置を補正します

画面の上下のバーが、画面の上下の端からできるだけ均等になるようにします。
決定すると、今後電源コードを抜き差しするたびに、「傾き補正」画面を表示させるかどうかを確認するメッセージが出ます。

4 ↑/↓で「はい」または「いいえ」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

「いいえ」を選ぶと、今後電源コードを入れたときに「傾き補正」画面は表示されません。

ちょっと一言

リモコンが使えないときなど、本体のボタンで操作したいときは、本体の電源を入れたときに出る本体ボタン用のガイドに従って操作してください（☞51ページ）。リモコンで操作すると、リモコン操作用のガイドに切り換わります。

テレビの設置場所を変えたときは

画像の傾きや画面上下位置のずれを補正してください。

1. メニューボタンを押して、メニューを出す。
2. ↑/↓で「（初期設定）」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
3. 「画像傾き補正」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
4. ↑/↓で「傾き補正　回転」または「傾き補正　上下」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
   画像が傾いているときは「傾き補正　回転」を、画面の上下位置がずれているときは「傾き補正　上下」を選びます。
5. ←/→または↑/↓で調整し、⊡（決定）ボタンを押す。
6. メニューボタンを押して、メニューを消す。

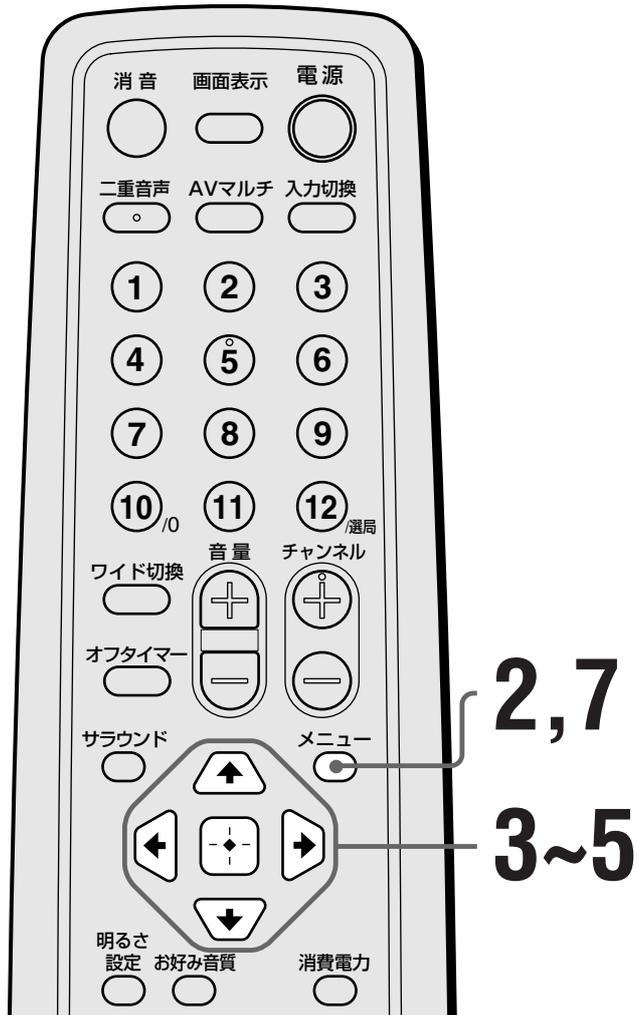
ご注意

うまく補正しきれないときは、いったんテレビの電源を切り、設置の場所を変えるか、テレビの向きを変えてから、もう1度、傾き補正の手順を行ってください。
電源を切らずに移動したり、向きを変えたりすると、補正がうまくされなかったり、色むらを起こす原因になります。
色むらが出たときは、移動したり、向きを変えたあとに、いったん電源を切って30分以上待ってから電源を入れてください。または、電源を入れたままで30分以上待ってから、いったん電源を切って、もう1度、電源を入れ直してください。

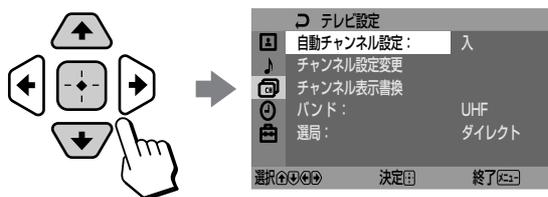
手順3：チャンネルを設定する

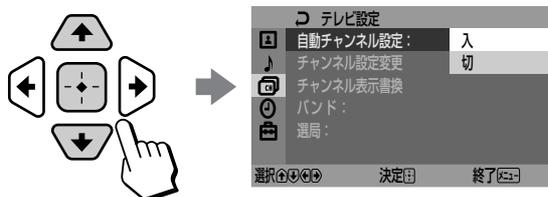
VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

自動設定する

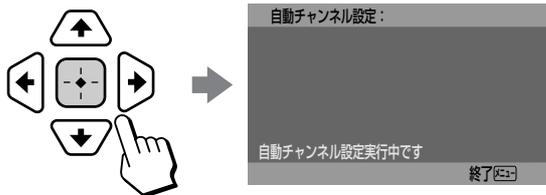
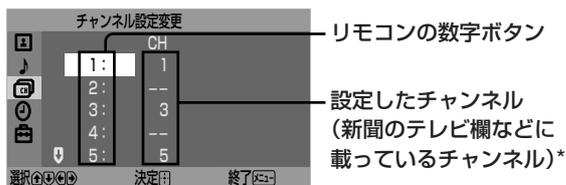
受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞29、30ページをご覧ください。

1 電源を入れて、VHF/UHF放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

3 ⬆/⬇で「(テレビ設定)」を選び、(決定) ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で「自動チャンネル設定」を選び、(決定) ボタンを押す。

次のページにつづく

手順3：
チャンネルを設定する（つづき）

5 **「自動チャンネル設定」が「入」になっていることを確認して、⊡（決定）ボタンを押す。**

「切」になっているときは、↑/↓で「入」を選び、⊡（決定）ボタンを押してください。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 **設定されたチャンネルを確認する。**

手動で設定し直したいときは
☞29ページをご覧ください。

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、メニューボタンを押す。

ご注意

「10キー選局」のときは自動チャンネル設定ができません。「ダイレクト選局」に戻してから行ってください（☞31ページ）。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1. **ダイレクト選局になっていることを確認する（☞31ページ）。**
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **↑/↓で「CH（テレビ設定）」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「バンド」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「CATV」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。**
6. **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。**
7. **↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、⊡（決定）ボタンを押す。**
8. **↑/↓で「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、⊡（決定）ボタンを押す。**
   ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
   例：C24
9. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞31ページ）をするときは、上記で受信設定をしたあと、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

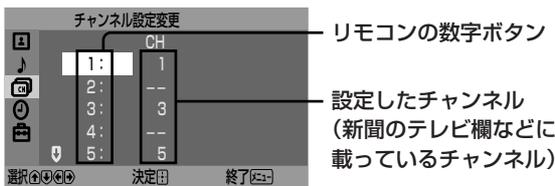
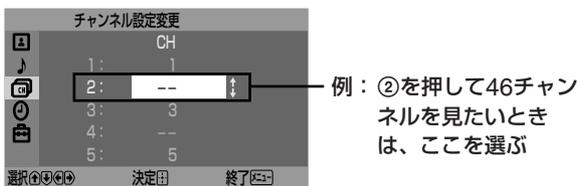
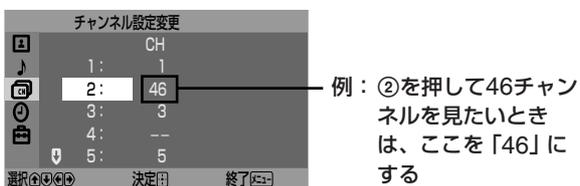
自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1〜12のチャンネル数字ボタンのすべてを、手動で設定できます。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、(決定)ボタンを押す。

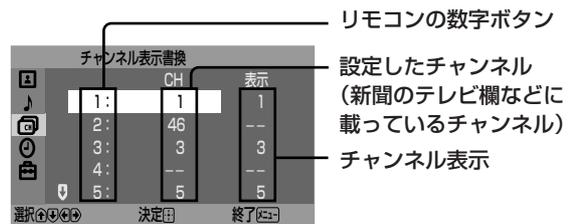
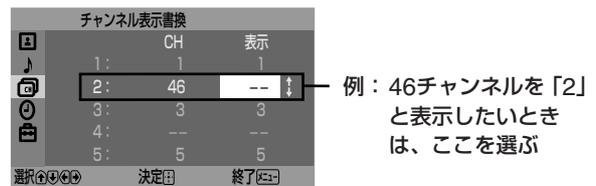
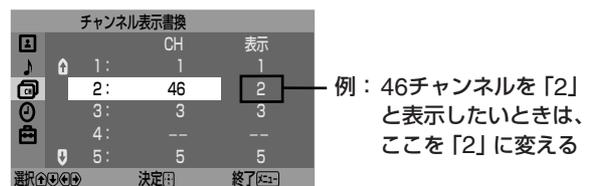
3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、(決定)ボタンを押す。

4 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、(決定)ボタンを押す。

5 ↑/↓で見たいチャンネルに変更し、(決定)ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号に書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、(決定)ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、(決定)ボタンを押す。

4 ↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、(決定)ボタンを押す。

5 ↑/↓でチャンネル表示を書き換え、(決定)ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言
チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

次のページにつづく

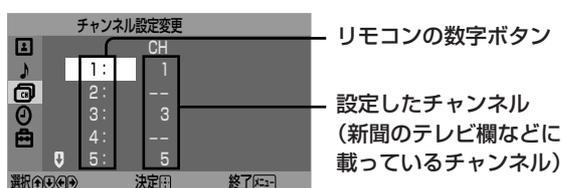
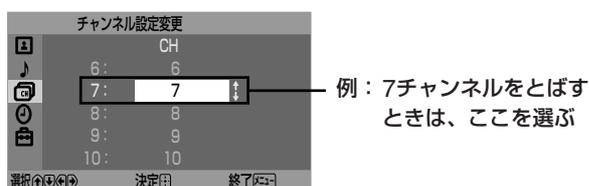
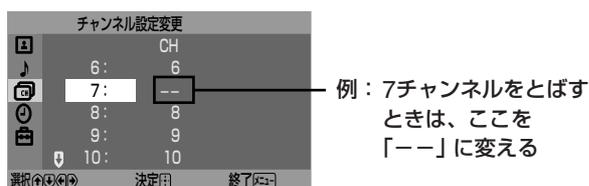
手順3：
チャンネルを設定する（つづき）

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

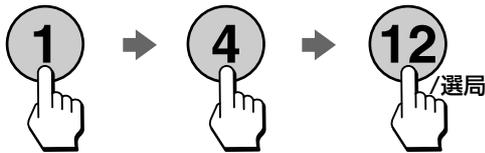
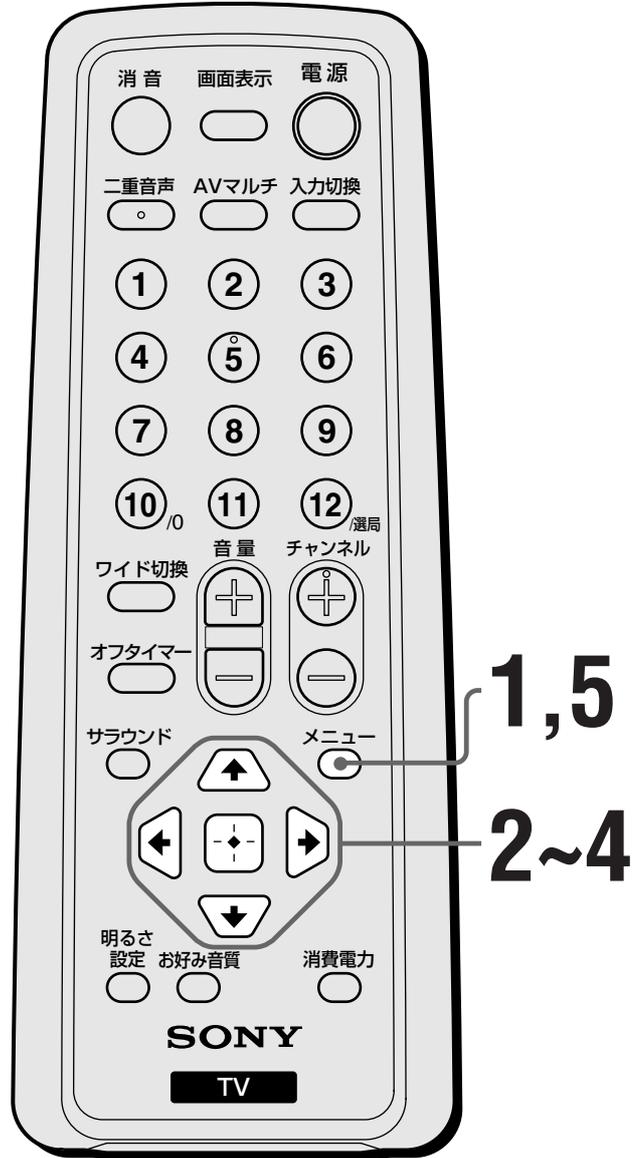
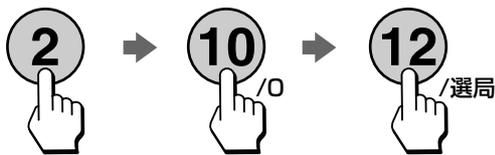
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「CH（テレビ設定）」を選び、⊕（決定）ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、⊕（決定）ボタンを押す。

4 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選び、⊕（決定）ボタンを押す。

5 ↑/↓で「CH」を「－－」に変えて、⊕（決定）ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ [10キー選局]

お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大12局です。
そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が12局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押したあと、⑫（=選局）ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

例）14チャンネル

20チャンネル

テレビの接続と準備

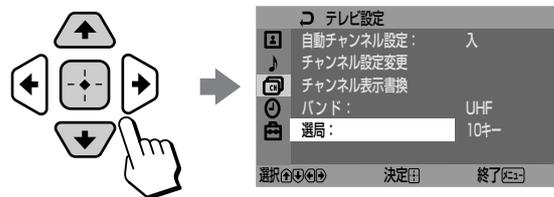
1 メニューボタンを押す。

2 ⬆/⬇で「CH（テレビ設定）」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］（つづき）

3 ↑/↓で「選局」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

4 ↑/↓で「10キー」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

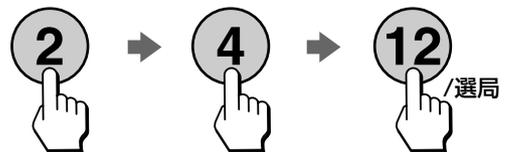
手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

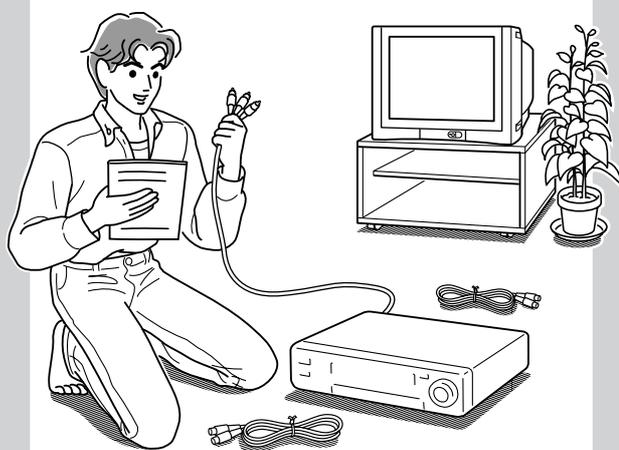
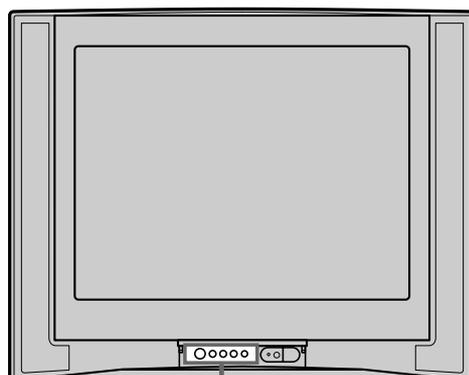
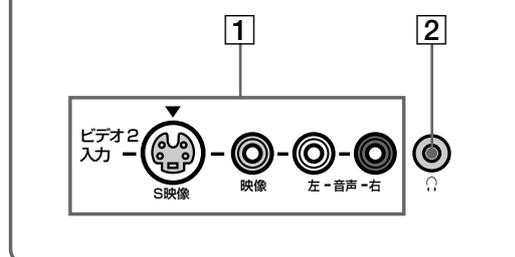
- チャンネルを自動設定する（☞27ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2のあと、下記の操作を行ってください。
  1 ↑/↓で「バンド」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
  2 ↑/↓で「CATV」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
  3 手順3以降を行う。

チャンネル＋/−ボタンで選ぶ放送を設定するには

チャンネル＋/−ボタンは1〜12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
2 ↑/↓で「CH（テレビ設定）」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
4 見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、⊡（決定）ボタンを押す。
例：24チャンネルのとき

5 ↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「−−」を選び、⊡（決定）ボタンを押す。
6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。
7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

他機との接続

ここでは、接続端子のなまえとはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞22ページ）をご覧ください。

接続端子のなまえとはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ビデオ2入力端子（S映像/映像/音声）（☞42ページ）**
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

2 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

他機との接続

次のページにつづく

接続端子のなまえとはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

3 コンポーネント入力端子（D1映像/音声）（☞37、38、39ページ）

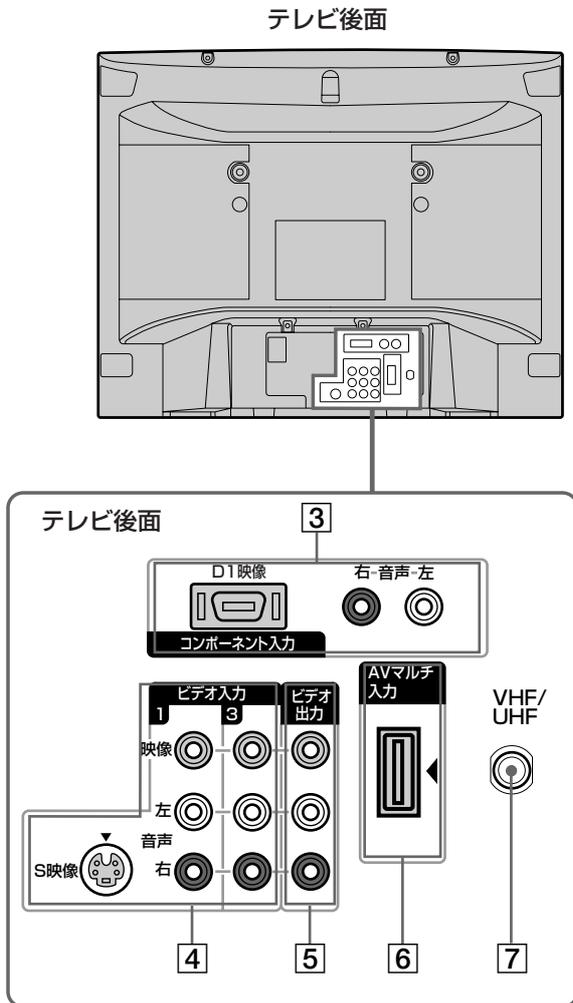
D1映像入力端子

BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器、DVDプレーヤーなどのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

BS・110度CSデジタル放送用の受信アダプターやビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

4 ビデオ1、3入力端子（S映像/映像/音声）（☞36、37、38、39〜40ページ）

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤーなど、ビデオ機器のビデオ出力端子につなぎます。

5 ビデオ出力端子（映像/音声）（☞42ページ）

ビデオデッキなどのビデオ入力端子やオーディオ機器の音声入力端子につなぎます。

VHF/UHF、ビデオ1*〜3入力、AVマルチの信号を出力します。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、メニューの「初期設定」の「ビデオ出力設定」で出力されるように設定する必要があります（☞35ページ）。

ご注意

コンポーネント入力端子につないだ機器の映像信号は出力しません。

6 AVマルチ入力端子（☞41ページ）

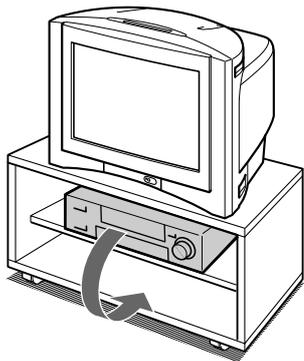
別売りのAVマルチケーブル（VMC-AVM250）を使って、“プレイステーション 2”、“プレイステーション”（PS one）および“プレイステーション”のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続、またはY/CB/CR接続になり、高画質な画像でゲームを楽しめます。

7 VHF/UHFアンテナ端子（☞23〜24ページ）

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
ビデオデッキなど一部の機器をテレビに近い場所に設置すると、テレビがビデオデッキなどから干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。このときは、ビデオデッキなどをテレビから離して設置してください。

画像の乱れやノイズが気になるときは、ビデオデッキなどの機器をテレビから離して設置してください。

S映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

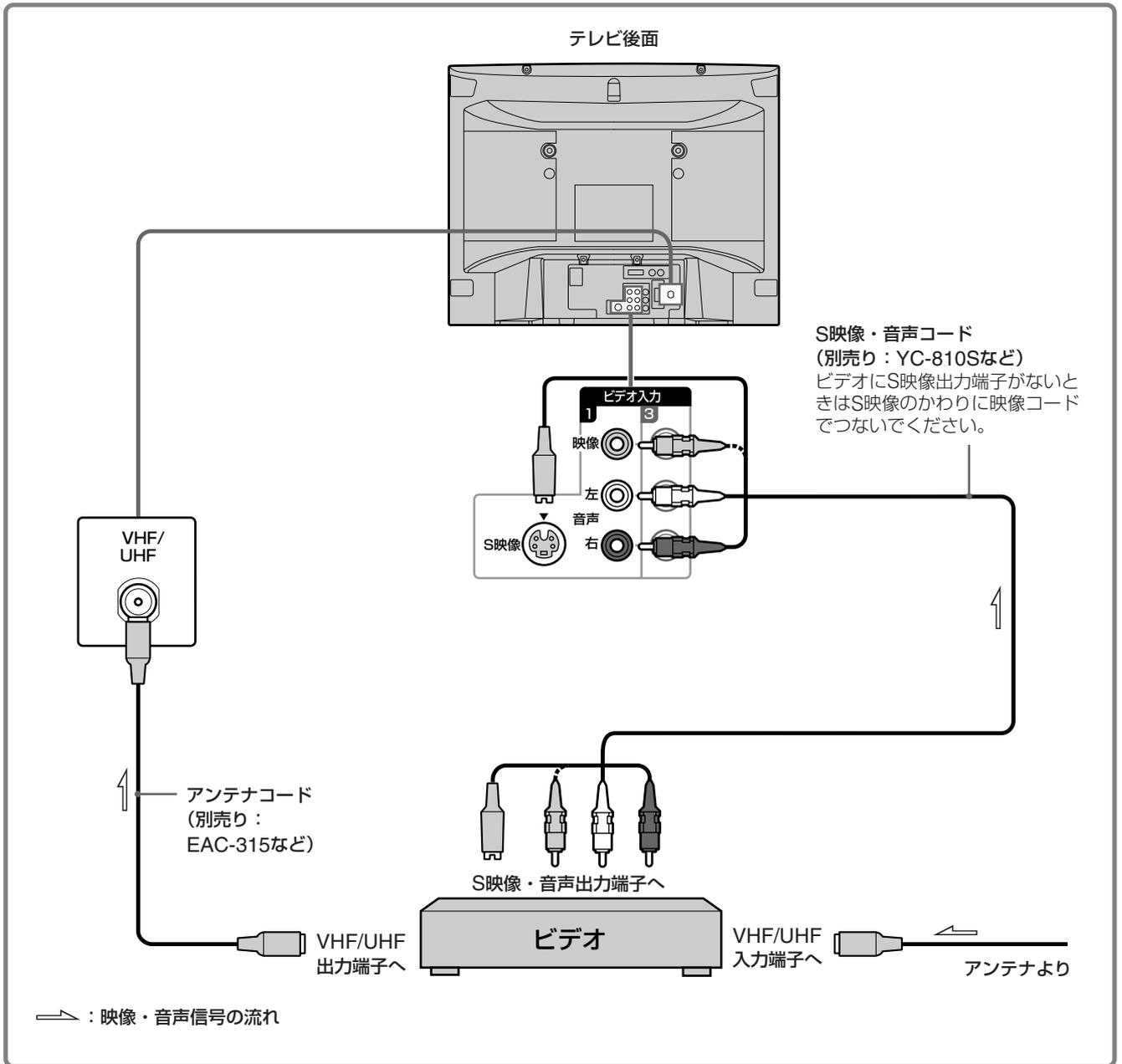
よりよい画質でご覧いただくために、つなぐ機器にS映像端子がある場合はS映像端子につないでください。
S映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

ご注意
テレビのビデオ1入力またはビデオ2入力のS映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは、S映像入力端子から入力された画像が映ります。

ビデオ1入力の信号をビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、ビデオ出力端子から出力されないようになっています。
そのため、ビデオ出力端子につないだオーディオ機器などで、ビデオ1入力の音声を楽しむとき（☞42ページ）などは、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がビデオ出力端子から出力されます。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「(初期設定)」を選び、(決定)ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「ビデオ出力設定」を選び、(決定)ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「ビデオ1あり」を選び、(決定)ボタンを押す。**
5. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

他機との接続

ビデオを見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。

詳しくは、☞12ページをご覧ください。

ご注意

テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2入力端子またはビデオ3入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞35ページ）。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質な画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

テレビ後面

D1映像
右-音声-左
コンポーネント入力

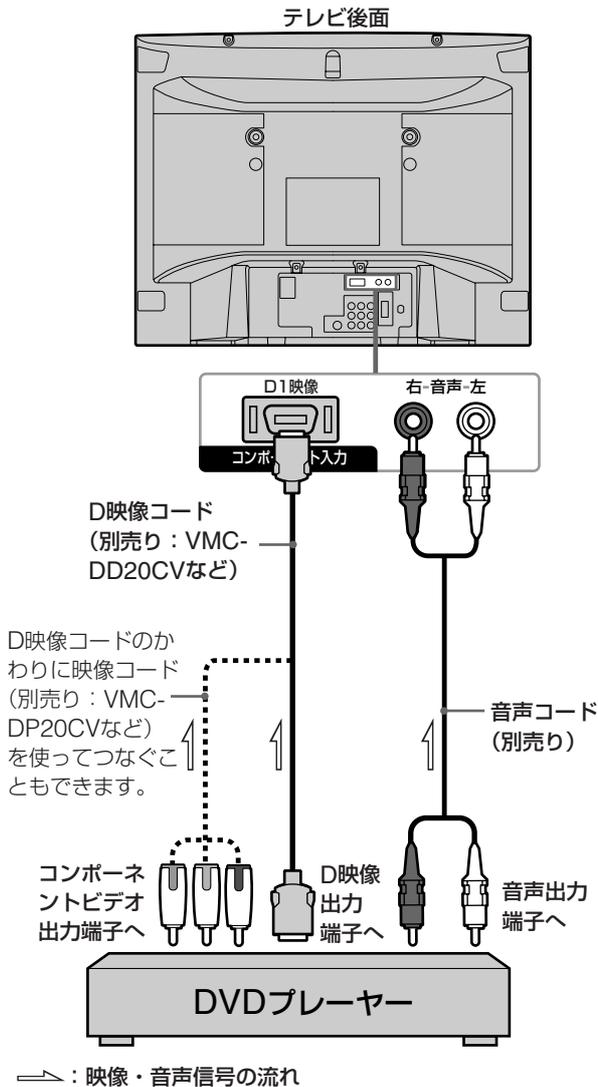
D映像コード
(別売り：VMC-DD20CVなど)

D映像コードのかわりに映像コード(別売り：VMC-DP20CVなど)を使ってつなぐこともできます。

音声コード
(別売り)

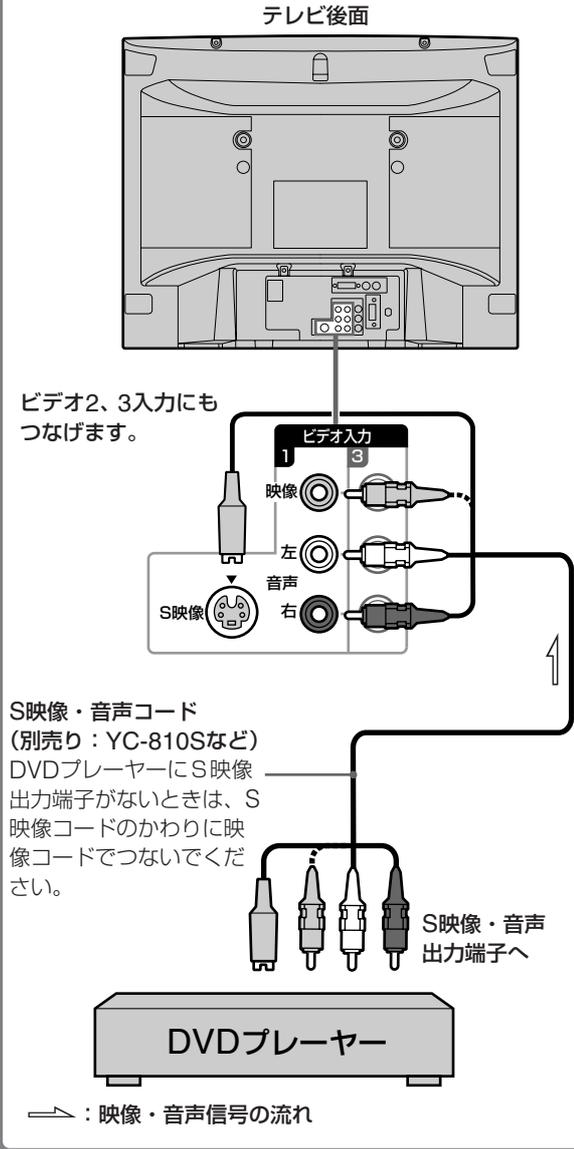
コンポーネントビデオ出力端子へ
D映像出力端子へ
音声出力端子へ

DVDプレーヤー

→：映像・音声信号の流れ

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

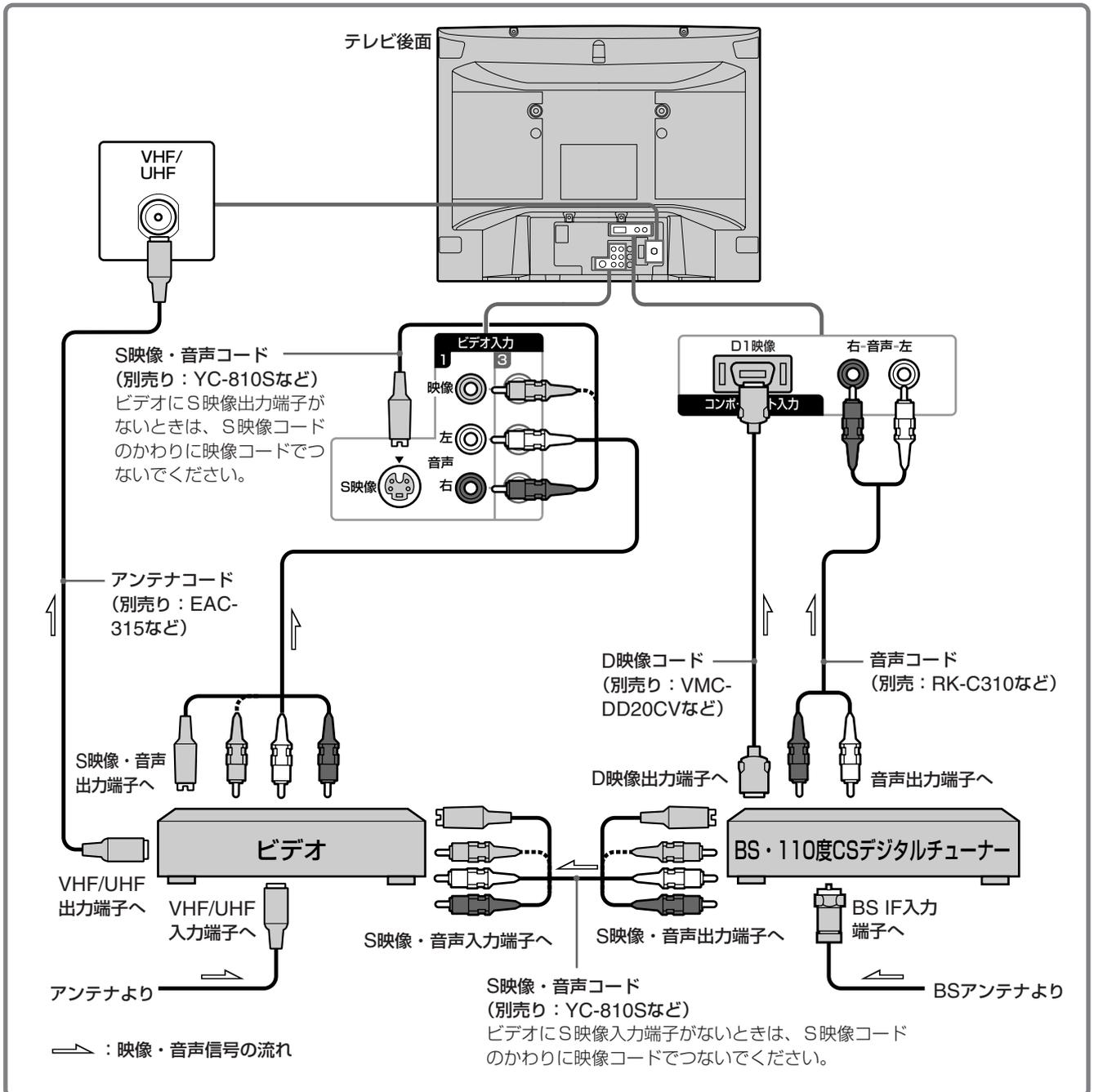
入力切換ボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力「コンポーネント（D端子)」を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

入力切換ボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ

BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタルチューナーが必要です。また、110度CSデジタル放送を見るには、110度CSデジタル放送に対応したアンテナや分配器などが必要です。BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BS・110度CSデジタル放送を見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、BS・110度CSデジタルチューナーをつないだコンポーネント入力「コンポーネント（D端子）」を表示させる。

詳しくは、☞12ページをご覧ください。

ご注意

- このテレビにはD映像入力端子がついています。BS・110度CSデジタルチューナー側でD端子に合った設定にしてください。
- BS・110度CSデジタルチューナー側のテレビ選択の設定を「4：3ワイドモード」や「16：9」など、このテレビに合わせた設定にしてください。
  詳しくは、BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送*を見るには、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。詳しくは、デジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* スカイパーフェクTV！のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

D映像出力端子のあるデジタルCSチューナーのとき

テレビ後面

VHF/UHF

S映像・音声コード
（別売り：YC-810Sなど）
ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像コードでつないでください。

ビデオ入力
1
3
映像
左
音声
右
S映像

D1映像
右-音声-左
コンポーネント入力

D映像コード
（別売り：VMC-DD20CVなど）

音声コード
（別売：RK-C310など）

S映像・音声出力端子へ

D映像出力端子へ

音声出力端子へ

ビデオ

デジタルCSチューナー

VHF/UHF出力端子へ

VHF/UHF入力端子へ

S映像・音声入力端子へ

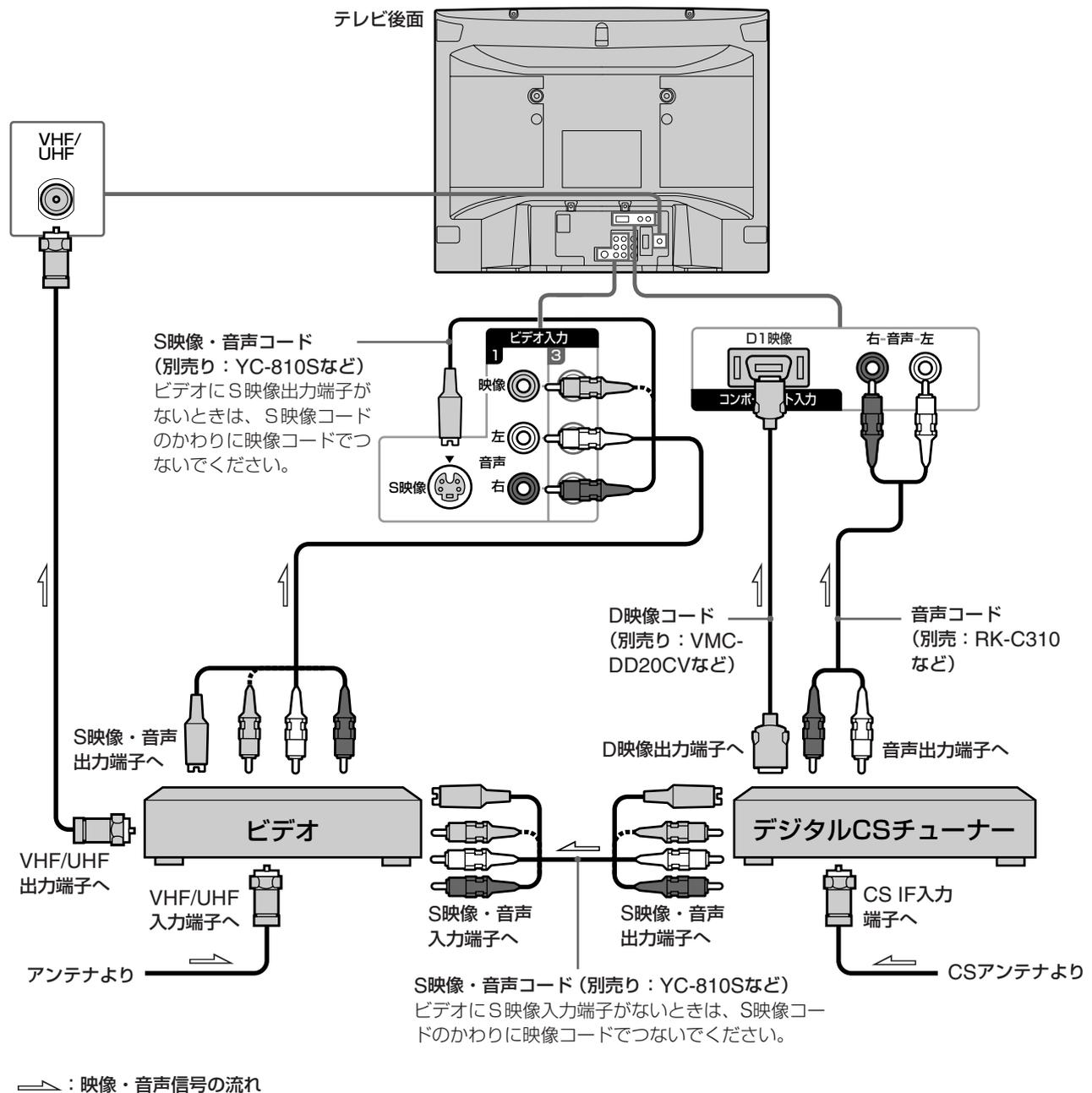
S映像・音声出力端子へ

CS IF入力端子へ

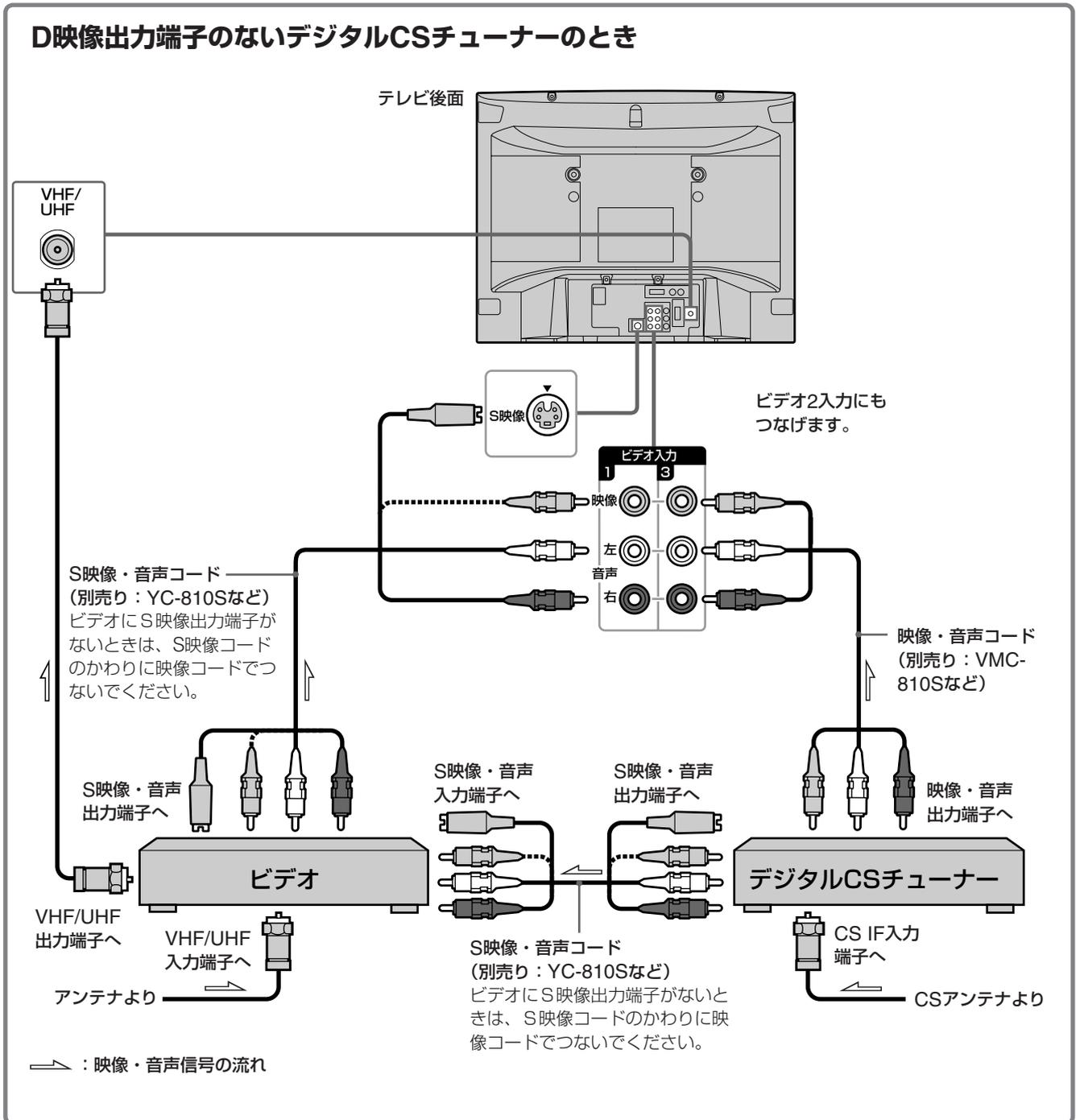
アンテナより

CSアンテナより

S映像・音声コード（別売り：YC-810Sなど）
ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像コードでつないでください。

：映像・音声信号の流れ

デジタルCS放送を見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力「コンポーネント（D端子）」を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ（つづき）

デジタルCS放送を見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ2」または「ビデオ3」）を表示させる。
詳しくは、☞12ページをご覧ください。

“プレイステーション 2” などをつなぐ

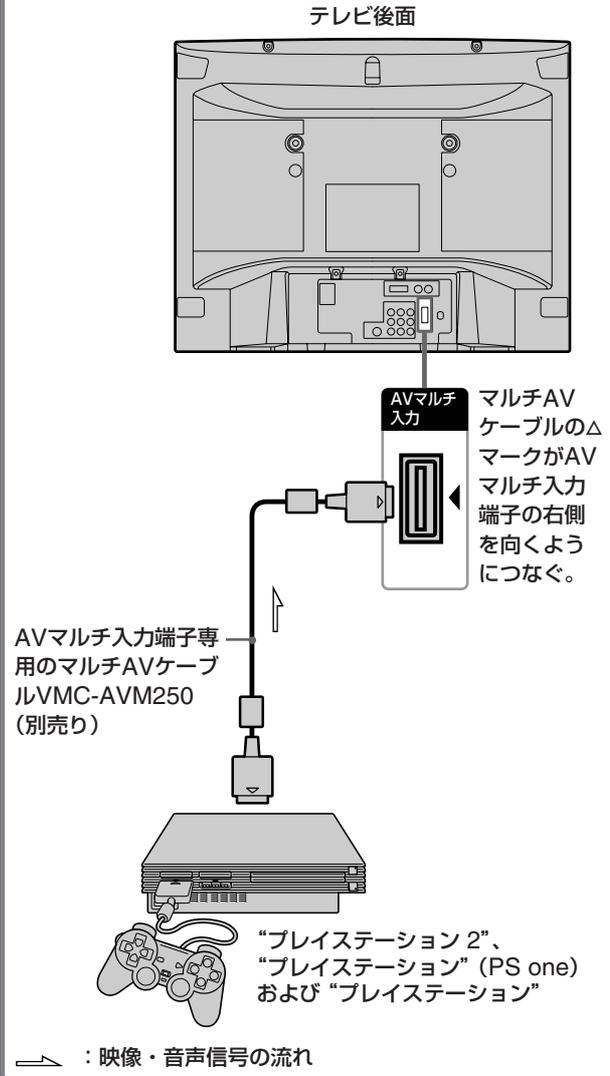
“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”（PS one）および
“プレイステーション”の取扱説明書もあわせてお読みください。

ご注意
“プレイステーション 2”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y Cb/Pb Cr/Pr）に固定されるため、画面が乱れることがあります。このテレビのAVマルチ入力端子は、コンポーネント映像信号に対応していますが、「AVマルチ入力」が「AVマルチRGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチY/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。
詳しくは、“プレイステーション 2”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00〜18:00（土日祝日を除く）

別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

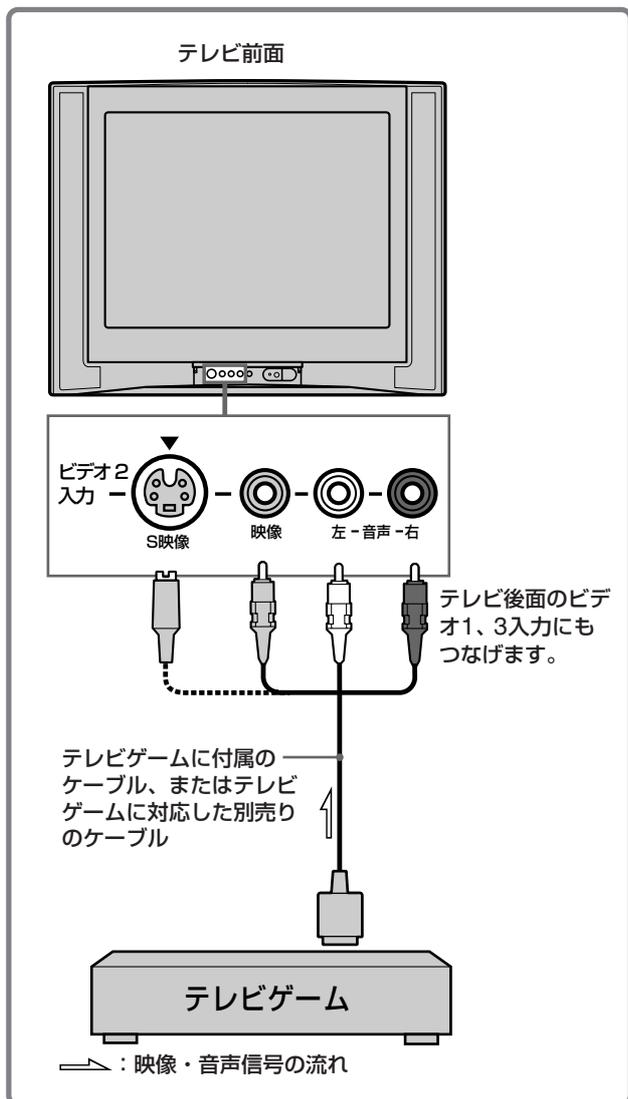
RGB接続、またはY/CB/CR接続になり、高画質な画像でゲームを楽しめます。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB、Y/CB/CR映像信号に適していないものもあります。

“プレイステーション 2”、“プレイステーション”（PS one）および“プレイステーション”を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、“プレイステーション 2”、“プレイステーション”（PS one）および“プレイステーション”をつないだ入力（「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

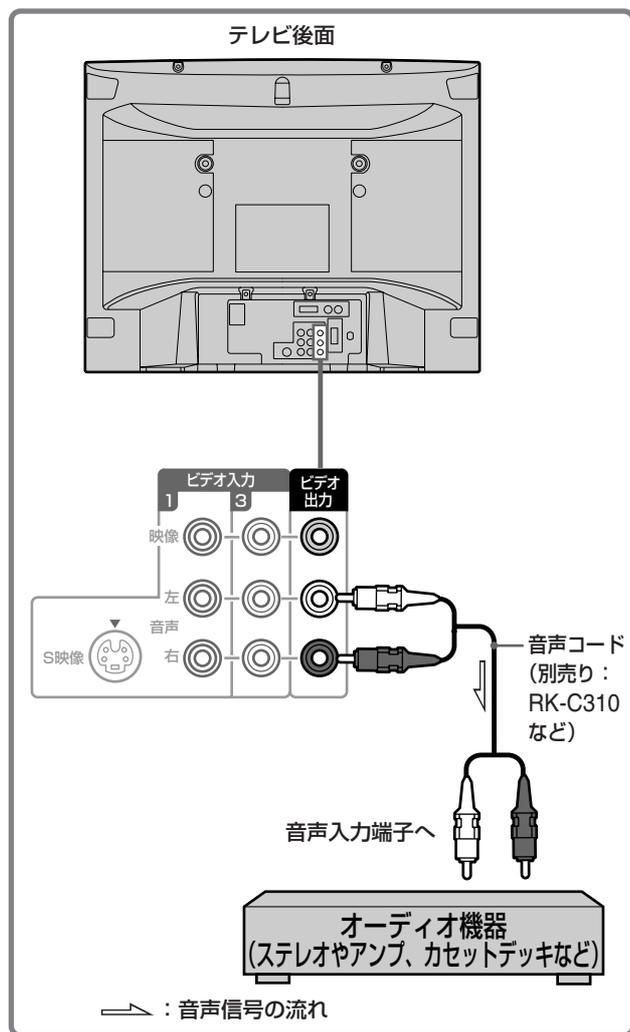
他機との接続

その他のテレビゲームなどをつなぐ

テレビ前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。
テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

入力切換ボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだ入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞14ページをご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調節したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

コンポーネント入力につないだ機器の音声信号も出力できます。ただし映像信号は出力されません。

ちょっと一言

お買い上げ時は、ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声信号は出力しない設定になっています。ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声を出力するときは、メニューの「初期設定」で、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にしてください（☞35ページ）。

その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

KV-14DA75、KV-21DA75（ケーブイ　ディーエイ）

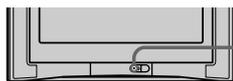
画面サイズ（番号）がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

リモコンの型名：RM-W152（アールエム　ダブリュー）

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

このテレビには自己診断表示機能がついています。これはテレビに異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合もあります。

スタンバイ/オフタイマーランプ（赤）

1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。

2 テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

次のページにつづく

テレビの症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	すべてのチャンネルが映らない。	● 電源コードをしっかりつないでください。 ● テレビ本体の電源を入れてください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを合わせ直してください（☞27ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	● テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 ● オフタイマーを設定していませんでしたか？（☞21ページ）
	つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞12〜14ページ）。
きれいに映らない	画像が二重、三重になる。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3〜5年、海辺では1〜2年）。
	斑点や点模様が走る。	● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質を設定してください（☞6ページ）。 ● メニューの「[画質アイコン]（画質）」で画質を調整してください（☞15ページ）。 ● 「消費電力：減」のときは、画面が暗くなります（☞9ページ）。
	画面がまぶしい。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質を設定してください（☞6ページ）。
	画面の一部に色むらがある。	● テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 ● テレビをしばらく見たあと、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。 ● ハロゲンヒーターなどの電化製品の影響を受けて色むらが発生することがあります。そのときは、一度テレビの電源を切り、約30分後にハロゲンヒーターなどの電化製品の電源を切った状態で、テレビの電源を入れなおし、次にハロゲンヒーターなどの電源を入れてください。テレビの電源を入れるときは、ハロゲンヒーターなどの電源をいったん切った状態で入れるようにすると影響を受けにくくなります。

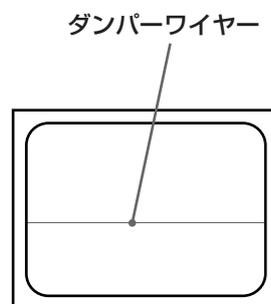
症状		対処のしかた
きれいに映らない	画像が傾いている。	● メニューの「🔒(初期設定)」で「画像傾き補正」を選び、「傾き補正　回転」と「傾き補正　上下」を調整してください(☞25ページ)。 ● 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のためうまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。 また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。
	縞状のノイズが多い。	● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	● ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one)および“プレイステーション”の画像がずれる。	● AVマルチボタンで切り換えた「AVマルチRGB」、「AVマルチY/CB/CR」のときは、メニューの「🔒(初期設定)」で「AVマルチ画面位置」を調整してください(☞14ページ)。
音が出ない／雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか、音量＋ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 ● テレビ放送など通常の音質のときはリモコンのサラウンドボタンを押して設定を「切」にしてください(☞8ページ)。 ● メニューの「🔒(初期設定)」で「オートステレオ」を「切」にしてください(☞20ページ)。
つぶれて見える	画面がつぶれて見える。	● 通常のテレビ放送など横縦比4:3の映像は、「高密ワイド：入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えることがあります。リモコンのワイド切換ボタンを押して「高密ワイド：切」にしてください(☞10ページ)。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
テレビから異音がする	「ピシッ」というきしみ音が出る。	• 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、テレビに影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	• 地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音で、テレビに影響はありません。
	テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする。	• テレビ内部で発生する静電気が原因で、テレビに影響はありません。
画面が一瞬光る	暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。	• ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。テレビの性能その他に影響はありません。
リモコンが働かない	リモコンで操作できない。	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞31ページ）** • メニューの「CH(テレビ設定)」で「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞31ページ）** • メニューの「CH(テレビ設定)」で「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 • チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

画面に細い横線が出たら（ダンパーワイヤー）

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は右図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。

ブラウン管表面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブラウン管表面が汚れているときは、中性洗剤を水で薄め、メガネ拭きなどの柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。また、洗剤が残っているとしみなどの原因になることがありますので、最後に水を布に含ませ、固く絞って拭き取ってください。から拭きはおやめください。
- 塩素系や酸性、アルコール入り、研磨剤入りの洗剤も使わないでください。
- スプレー式の洗剤を直接ブラウン管に吹き付けないでください。テレビの内部に洗剤液が入り故障の原因になったり、噴射剤に可燃性のガス成分が使われているときは、静電気による火花で稀に発火の原因になることがあります。
- 化学ぞうきんの使用は避けてください。
- ボールペンやドライバーなどの先の尖ったものでブラウン管面に触れたり、擦ったりしないでください。

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-14DA75、KV-21DA75

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
ブラウン管*1　KV-14DA75：
FDトリニトロン83度偏向14型
KV-21DA75：
FDトリニトロン90度偏向21型

*1 テレビの型（14型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法　KV-14DA75：27.3×20.2、33.9cm対角
KV-21DA75：40.8×30.5、50.7cm対角
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　KV-14DA75：5×12cm（2）
KV-21DA75：6.5×13cm（2）
音声出力　KV-14DA75：
実用最大　3W×2（JEITA）
KV-21DA75：
実用最大　5W×2（JEITA）

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF 75Ω F型コネクター
ビデオ1、3入力端子、ビデオ2入力端子
S映像：4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ
コンポーネント入力端子
D1映像：
Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）
CB/CR：±350mVp-p、
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AVマルチ入力端子
12ピン

ビデオ出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時の数値です。
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上

電源部・その他

消費電力　KV-14DA75：64W
KV-21DA75：85W
消費電力（リモコン待機時）：0.1W
KV-14DA75/KV-21DA75共通です。
年間消費電力量*2　KV-14DA75：77kWh/年
KV-21DA75：90kWh/年

*2 年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4～5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　KV-14DA75：41.4×35.2×41.0cm
KV-21DA75：58.9×46.0×47.9cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　KV-14DA75：約13.6kg
KV-21DA75：約26.5kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー　RM-W152（1）
乾電池　単3型（2）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

2003年5月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ステレオヘッドホン
MDR-AV305
接続ケーブルなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- WOW、TruSurround、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
WOW、TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- このテレビは米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

サ行

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

地上デジタル

2003年12月に一部地域での放送開始を予定している、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーを内蔵しています。

デジタルCS放送

スカイパーフェクTV！のことです。通信衛星を使ったCS放送の一種で、110度CSデジタル放送ではありません。

ハ行

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ヤ行

有効走査線数

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

数字・アルファベット順

110度CSデジタル放送

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。
110度CSデジタル放送を受信するには、別途BS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

BSデジタル放送

2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーや、BS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

D端子

BS・110度CSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。BS・110度CSデジタル放送受信アダプターなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。このテレビにはD1入力端子が付いています。

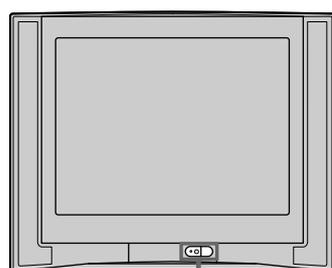
- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

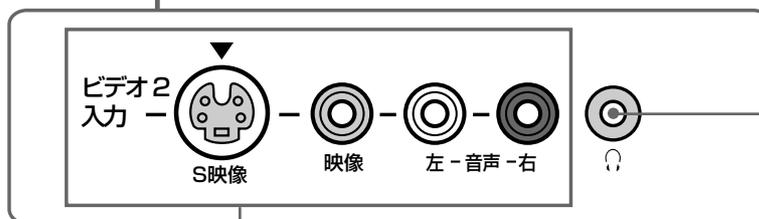
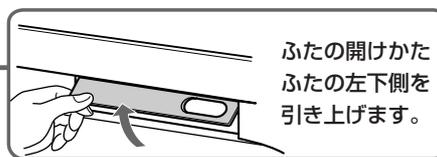
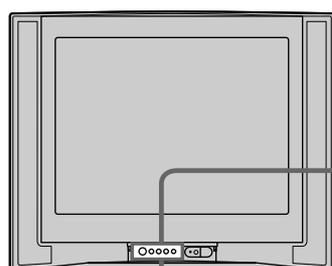
NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

各部のなまえ/
Identifying parts and controls

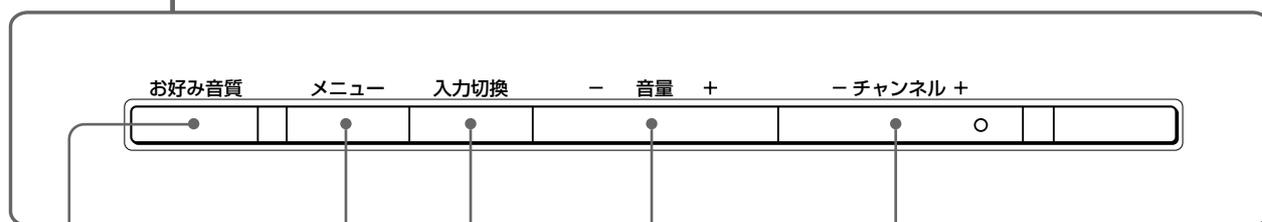
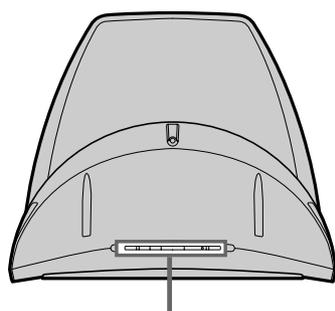
テレビ前面/TV Front Panel

電源スイッチ☞5ページ
Power switch page 5

リモコン受光部
Remote Control sensor

スタンバイ/オフタイマーランプ☞5、43ページ
Standby/Off Timer indicator pages 5, 43

ヘッドホン端子
Headphones jack

ビデオ2入力端子☞42ページ
（S映像端子、映像端子、左音声端子、右音声端子）
Video 2 input jacks page 42
(S-Video jack, Video jack, Audio-L jack, Audio-R jack)

テレビ天面/TV Top Panel

ちょっと一言
*の付いたボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

お好み音質ボタン
☞7ページ
Sound Mode button page 7

メニューボタン
☞9ページ
Menu button page 9

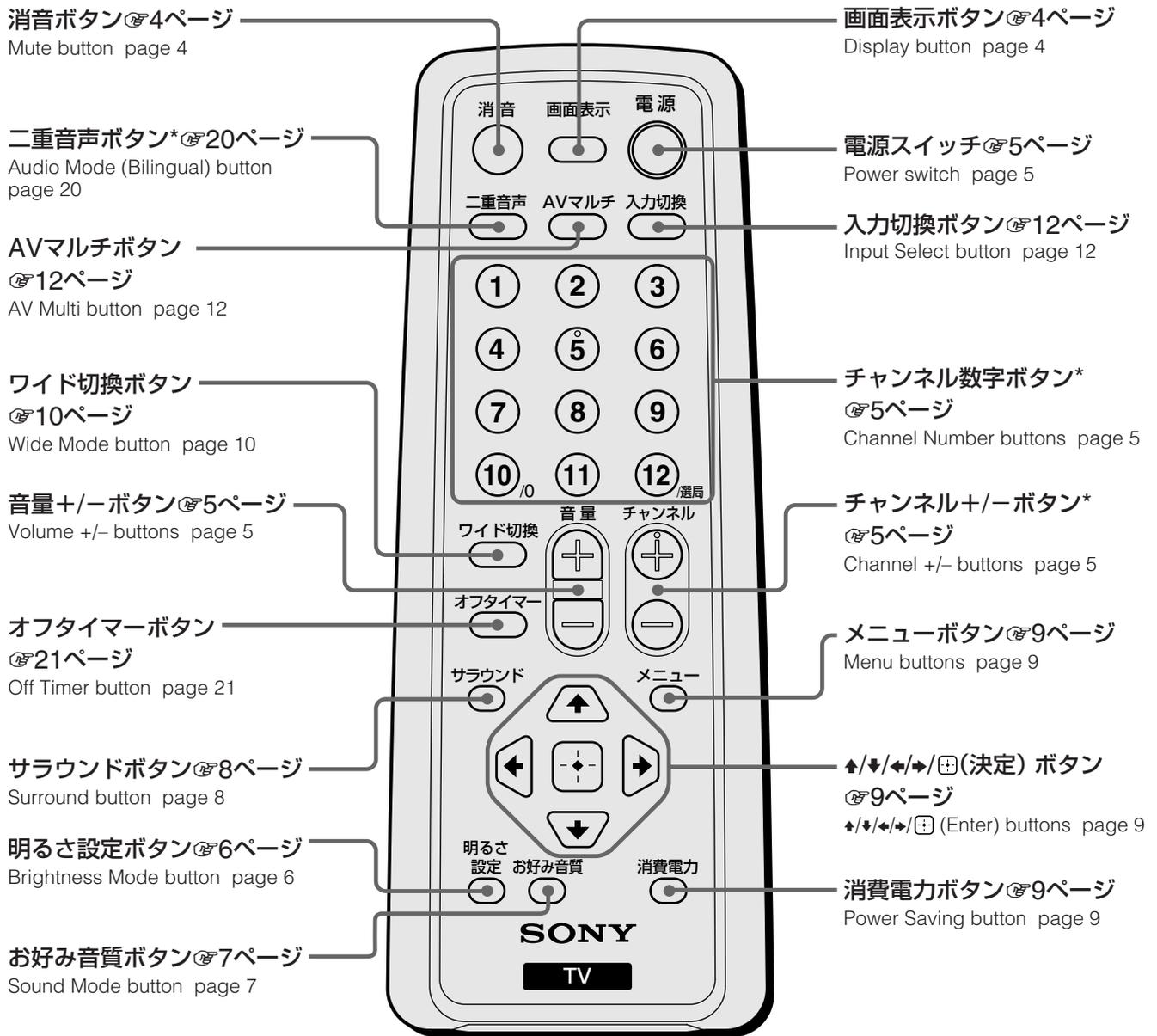
入力切換ボタン
☞12ページ
Input Select button page 12

音量＋/－ボタン
☞5ページ
Volume +/– buttons page 5

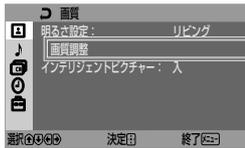
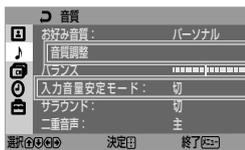
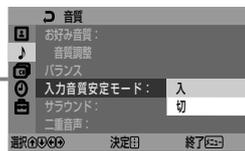
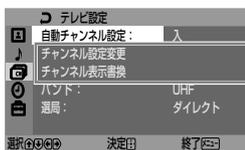
チャンネル＋/－ボタン*
☞5ページ
Channel +/– buttons page 5

テレビ天面ボタンでも、メニュー操作ができます

リモコンのメニューボタンと同じように、テレビ天面の「メニューボタン」を押して、各メニューの操作をすることができます。
「メニュー選択▲/▼」は「音量＋/－ボタン」、「決定」は「入力切換ボタン」を使用します。終了するときはもう1度「メニューボタン」を押してください。

リモコン/Remote Control

ちょっと一言
*の付いたボタン（チャンネル数字ボタンは「5」のみ）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

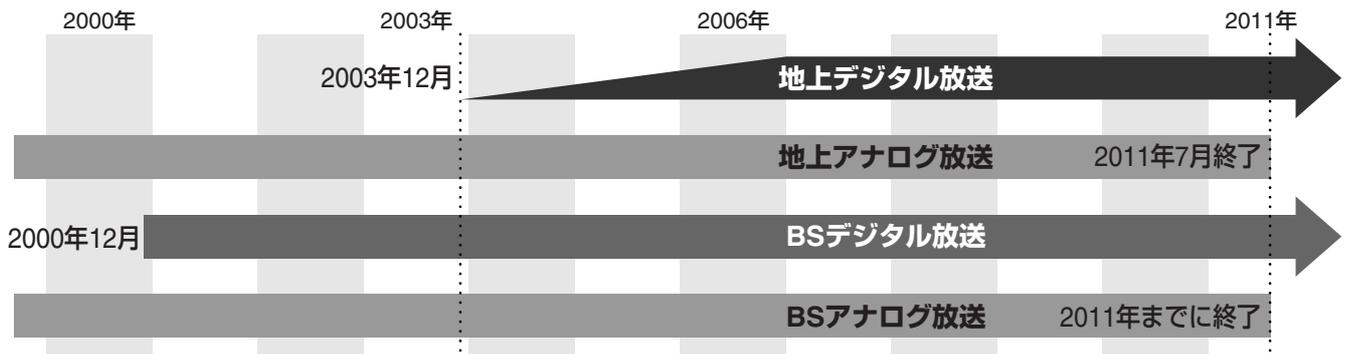
メニュー一覧

リモコンの を押すと出るメニュー

- メニューは↑/↓/←/→で選び、⊡(決定) ボタンを押します。
- オレンジ色で表示される部分が選ばれています。
- 暗く表示される部分は選べません。
- メニューの↑/↓/←/→の表示がない方向には進めません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

アナログ放送からデジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

※ 2003年9月現在の情報です。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や横縦比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。
なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

※ デジタル放送チャンネルに対応した受信アンテナが必要です。
※ ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信するには専用のホームターミナル（アダプター）が必要になる場合があります。詳しくは、加入しているCATV会社にお問い合わせください。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管方式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35
http://www.sony.co.jp/

Printed in Malaysia